

資料編

1 酒田コミュニケーションポート（仮称）整備検討委員会

(1) 設置要綱

(設置)

第1条 酒田駅周辺整備事業に伴い整備する公共施設（酒田コミュニケーションポート（仮称））（以下「新公共施設」という。）に係る基本計画及び実施計画を策定するにあたり、各分野の市民等からの意見を聴き、検討を行うため、酒田コミュニケーションポート（仮称）整備検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 新公共施設の基本計画に関する事項
- (2) 新公共施設の実施計画に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、必要と認められる事項

(組織)

第3条 委員会は、委員11人以内で組織し、副市長、学識経験者、学校教育・社会教育関係者、まちづくり活動関係者等の中から、市長が任命又は委嘱する。

- 2 委員会に、委員長及び副委員長各1人を置く。
- 3 委員長は副市長をもって充てるものとし、副委員長は委員長が指名する。
- 4 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、第2条に定める所掌事項について、その目的が達成した日までとする。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じて招集する。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

(意見の聴取)

第6条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、企画振興部都市デザイン課において処理する。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この告示は、平成28年5月17日から施行する。

(2) 委員名簿 (平成 29 年度)

(敬称略、五十音順)

氏 名	役 職 等
小田島 健男	県・市社会教育委員 【副委員長】
片桐 晃子	NPO にこっと理事長、県教育委員
久木原 満	酒田青年会議所副理事長
齋藤 潤弥	酒田光陵高等学校教頭
佐藤 晶子	元月刊「SPOON」編集長、県図書館協議会委員
佐藤 真美	山新観光(株)営業一部長、県観光審議会委員
高橋 利春	市図書館協議会長、市自治会連合会副会長
田代 典子	前第二中学校 P T A 副会長
中原 浩子	東北公益文科大学特任講師、県観光審議会委員
平尾 清	東北公益文科大学教授、市政策参与
矢口 明子	副市長 【委員長】

※役職等は、平成 29 年 11 月 28 日現在のもの

(3) 開催経過・議事等

回 数	開催年月日	主な議事
第 1 回	平成 29 年 8 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田駅周辺整備事業 (酒田コミュニケーションポート (仮称) の基本設計 (案) の概要について ・今後のスケジュール (市民等意見の集約) について ・酒田駅前まちづくりシンポジウム (仮称) の開催について
第 2 回	平成 29 年 11 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書計画基本方針 (案) について ・市民参画手法の検討状況について ・運営手法の検討状況について ・施設建築物の今後の実施設計に向けて
勉強会	平成 30 年 1 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者との意見交換
第 3 回	平成 30 年 2 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・整備実施計画 (案) について

2 ライブラリーセンター蔵書計画

酒田市立図書館蔵書計画基本方針

1 策定の目的

酒田駅前地区第一種市街地再開発事業において、酒田コミュニケーションポート（仮称）を整備し、そこに現在の中央図書館が移転することを契機に、蔵書冊数の規模が拡大し、開架、閉架ともに図書資料の充実を図ることができるようになります。

そのため、平成 28 年度に策定した酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画において一定の方針を定めておりますが、具体的な選書基準や分野別の蔵書目標などを含めて、これまで、不十分であった青少年・若者向けの分野などの課題を踏まえながら、その方針を定めるものであります。

2 基本的考え方

資料の収集にあたっては、これまでも一定の基準のもと収集を行ってきていますが、今後、規模の課題等から充実を図ることが出来なかった分野や酒田コミュニケーションポート（仮称）整備基本計画の基本理念・基本方針の実現のために求められる分野等を強化し、魅力ある蔵書構成を構築していきます。

(1) 地域図書館として、市民の財産となる地域（地域のことが知れる）の資料・情報の収集

- ・地域の自然、歴史、文化、産業、教育等に留意し、市民の財産となる資料・情報を収集します。
- ・本市に関する資料は、一般に流通する図書資料だけでなく、行政機関や民間団体、個人が発行するもの（広報誌や統計資料、パンフレット、コミュニティペーパー等）についても、幅広く収集します。
- ・郷土資料については、図書だけでなく画像、映像、古地図、絵葉書等にも留意し、市民が郷土の歴史と文化を知るうえで貴重な資料について、可能な限り収集します。その上で、デジタル化も検討していきます。
- ・本市との交流都市や観光案内に資する資料、ガイドブック等を積極的に収集します。
- ・鳥海山・飛島ジオパークに関連する資料の収集を強化し、学校等との連携により、教育・学習活動に活用できるようにします。
- ・本市ゆかりの人物に関する資料の収集に努めます。

(2) 多様な市民ニーズに応える、新鮮で豊富な資料・情報の偏りない収集

- ・市民の教養及び生涯学習のニーズに応えるため、人文科学・社会科学・自然科学の各分野にわたり偏りなく収集します。
- ・一般書のほか、専門書、実用書、参考図書等にわたり、常に最新の情報が提供できるように収集します。
- ・生活実用書、趣味、教養に関する資料のほか、子育て、医療、介護等の資料・情報を充実させます。
- ・ビジネスやまちづくり関係の資料・情報を充実させます。
- ・思想的、宗教的、政治的な立場にとらわれることなく、市民が多様な視点から情報が得られるよう、幅広く収集します。
- ・国際交流、インバウンド対応、英語教育の強化等に対応するため、英語資料の充実を検討します。
- ・利用者からのニーズが特に高い資料については、複本を整備します。

(3) 青少年、20代若者向け資料の充実

- ・これまで、必ずしも十分と言えなかった青少年、20代若者向けの資料についてそのニーズ等を考慮した魅力的な資料を収集します。
- ・これまでの図書館利用から遠ざかりがちな若者世代向けに、スポーツ、ファッション、音楽、芸術等の資料を充実させます。
- ・調べ学習に必要な資料や、学校図書館の蔵書を補完するような資料を、学校図書館と連携しつつ幅広く収集します。
- ・将来の進路を考えるうえで参考になる資料を収集します。
- ・漫画についてのニーズが高いため、書架スペースとのバランスに考慮しつつ、定評のあるもの、保存に耐えるもの等の方針を定め収集します。

(4) 新聞・雑誌の充実

- ・寛ぎながら時間を過ごせる場所として市民から利用してもらえるために、新聞・雑誌の充実を図ります。
- ・新聞については、主要全国紙から東北地方・県内の地方紙等、幅広く収集します。なお、観光圏などが一緒の隣接県の地方紙の収集を検討します。
- ・国際交流が進んでいる時代において、外国語新聞の収集も行います。
- ・小中高生の活字に親しんでもらうため、小学生新聞や中高生新聞の収集を検討します。
- ・その他の専門新聞の充実も図っていきます。
- ・雑誌については、各世代各分野にわたり、一般的なものから専門的なもの、地域性のあるものまで、幅広く収集します。

- ・県を中心とする地域限定の情報誌やミニコミ誌なども、積極的に収集します。

(5) 一般図書

- ・入門的・基礎的な資料から生活に役立つ実用的・専門的な資料まで、幅広く収集します。
- ・日常的な調べものや、調査・研究に資する参考図書（辞書、事典、統計、白書、地図等）を収集します。

(6) 児童図書

- ・子どもが読書に親しみ、発達段階に応じて読書習慣が継続されるよう、年齢層ごとの資料を偏りなく収集します。
- ・絵本、紙芝居、読み物については、定評のあるものから新しい作品まで幅広く収集します。
- ・子ども向けの調べ学習に資する資料、参考図書を積極的に収集します。

(7) 高齢者・障がい者向け資料

- ・大活字本等の読みやすい資料を収集します。
- ・録音図書については、基本的には県立点字図書館が担い、本市は、当該図書館との連携を図り情報発信に努めます。
- ・医療、健康、福祉、年金、余暇など、シニアニーズに応じた資料を偏りなく収集します。
- ・視覚的な図鑑・写真集などを収集します。
- ・障がい者向けには、電子資料の有用性に十分、配慮します。
- ・障がいを理解する助けとなる資料・情報を収集します。

(8) 視聴覚資料

- ・市民の教養を高め、生涯学習に資する視聴覚資料については、技術革新に留意しながら、その状況を踏まえつつ収集します。

(9) 資料の保存

- ・保存期間を設けるもの（新聞・雑誌等）、利用頻度や劣化状態等考慮して適宜除籍するもの（図書・視聴覚資料等）、永年保存するもの（貴重資料等）に分け、適切な保存を行います。
- ・新聞・雑誌について、限られた保存スペースを踏まえ、庄内地区の図書館と調整・役割分担しながら保存していきます。

(10) 図書館間ネットワーク（相互貸借制度）の活用

- ・本市の図書館で所蔵していない図書や雑誌について、他の図書館から貸し借りする図書館ネットワークの活用と方法について、わかりやすい情報発信を行います。

3 資料収集方針及び資料選定基準

上記の基本的考え方のもと、資料収集方針及び資料選定基準を別紙1及び別紙2のとおり定めます。

4 マンガ資料に関する選定基準

日本を代表する大衆文化の一つとして国内外ですでに広く認知されているマンガに関し、酒田市立図書館における資料としての収集範囲及び選定、運用における事項を別紙3のとおり定めます。

5 除籍候補資料選定基準

限りあるスペースの中で、次代に伝えるべき蔵書の保存に努め、適切な蔵書構成を維持することを目的として、別紙4のとおり定めます。

なお、将来的な蔵書数を見据え、蔵書のデジタル化を研究していきます。

6 図書等の寄贈に関する取扱基準

大変貴重である図書等の寄贈の受入れの基準について、別紙5のとおり定めます。

7 ライブラリーセンターの蔵書構成（目標）

今回新たに整備されるライブラリーセンターの蔵書構成の目標として、本書の方針に基づき、別紙6のとおり定めます。

8 分館等の考え方

現在、八幡分館、松山分館及びひらた図書センターが、各地区に配置している。分館等における蔵書計画については、施設規模から容量的に限界があることから、本書方針を基本としつつ、分館等の実情に応じて、蔵書を構築していきます。

【別紙 1】

酒田市立図書館資料収集方針

1 目的

公共図書館の任務は、健康で文化的な生活を営むために、知る権利・学習する権利を有する人々に対し、資料を提供することである。

酒田市立図書館は、酒田市民及び酒田市立図書館利用者（以下「市民等」という。）に対して、地域文化の発展、教養、学習、調査研究、暮らしやレクリエーションなどに必要な資料や情報を提供し、生活が創造性に満ち、豊かでうるおいのあるものとなるよう、次の視点により資料収集を図る。

2 収集における基本的な考え

- (1) 公共図書館の役割や社会動向、市民等の要望を十分考慮したうえで、幅広く資料を収集する。
- (2) 酒田（合併した地域を含む）に関する資料は、積極的に収集する。
- (3) 図書・雑誌などの紙媒体の資料のほか、録音・映像などの視聴覚資料、データベース・電子書籍などのデジタル化資料についても、再生機器の変化に応じた収集を行う。
- (4) 収集にあたっては、「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会採択 1979 年改訂）の考え方を基本とする。

3 資料別収集方針

(1) 一般図書

市民等の教養、学習、調査研究、趣味、レクリエーションなどに役立つため、基礎的・入門的な図書のほか必要に応じ専門的な図書まで、各分野にわたり幅広く収集する。また、大活字で書かれた図書についても収集に努める。ただし、次の図書については、原則として収集しない。

- ① 極めて高度な専門書、学術書
- ② 学習参考書、各種試験問題集、テキスト類
- ③ 類似的なものが多数出版されている実用書、娯楽書
- ④ 極めて特殊な領域に属する図書
- ⑤ 特定の機関や団体の宣伝を目的として発行された資料
- ⑥ 特定の機関や団体及び個人を誹謗中傷すると認められる資料
- ⑦ 暴力や犯罪等の不法行為を容認又は助長する資料
- ⑧ 残虐性を助長することを目的とする資料
- ⑨ 人権への配慮に欠ける資料

⑩ 性的表現が過激な資料

⑪ 利用者が極めて限られると想定される資料で他館等を通じて提供できるもの

(2) 児童図書

幼児・児童・生徒の様々な興味に対応し、豊かな人間形成に役立つものを、各分野にわたり幅広く収集する。

① 読書を通じて子供の豊かな感性・想像力を養うことができる図書

② 学習・教養・娯楽などに役立つ図書

(3) 参考図書

参考、調査・研究機能を果たすために必要な図書を、幅広く体系的に収集する。

(4) 逐次刊行物

次のとおり収集する。

① 雑誌

国内発行の各分野における基本的な雑誌を中心に収集する。ただし、漫画を主たる内容とする雑誌は収集しない

② 新聞

国内発行の主要全国紙、経済紙及び地方紙を収集する。

③ 年鑑・年報・白書等

一般図書・参考図書の方針による。

(5) 官公庁出版物

政府諸機関等公的機関が発行する資料については、主要なものを収集する。

(6) 郷土資料

郷土の歴史を後世に伝えるため、また、市民が郷土を知り研究するうえで必要な資料（酒田市に関する行政資料も含む）を収集する。

(7) 視聴覚資料

活字以外のメディアにおいても次の資料を収集する。

① 映像資料（DVD）

あらゆる世代の利用者の要求に応えられるような、幅広い分野の資料を収集する。

② 録音資料（CD）

朗読資料を収集する。

(8) 視覚障がい者資料

点字図書、録音資料など、適切な形態なものについてはできるだけ収集する。

(9) その他の資料

- ・ CD-ROMなどは必要に応じて収集する。
- ・ 青少年、20代若者向け資料の充実
- ・ 高齢者、障害者向け資料の充実
- ・ 各種データベースの整備

【別紙 2】

酒田市立図書館資料選定基準

資料収集方針を実現するために、資料選定の判断の要点を以下のようにまとめ選定の基準とする。

- 1 公共図書館の活動に必要な不可欠な図書群である次に掲げる基本図書を中心に選定する。
 - (1) 調査・参考業務に使用する参考図書
 - (2) あらゆる分野を対象とする基礎的な図書
 - (3) 郷土資料
- 2 市民の日常生活・文化活動に役立つ、実用・趣味・教養・娯楽関係図書を中心に選定する。
- 3 調査・参考業務に使用する資料は、実用的なものを選定する。
- 4 特定の主義・主張に偏ることなく公平に選定する。
 - (1) 多様な対立する意見のあるものは、それぞれの観点に立つものを幅広く選定する。
 - (2) 著者の思想的・宗教的・党派的立場にとらわれて、その著作を排除しない。
 - (3) 選書担当者の個人的な関心や好みによる選択をしない。
- 5 最新の情報を盛り込んだ図書を選定する。ただし、一時的な流行により多数出版される分野の図書には十分注意のうえ選定する。
- 6 全集・叢書などの選択にあたっては、編集方針、収録作品などについて十分留意する。
- 7 間接的な評価として、文学賞をはじめ各種の賞や、団体などの行う図書の選定・推薦・書評など、社会的な評価も参考にする。
- 8 逐次・定期刊行物は、計画的かつ継続的に購入する。
- 9 マンガについては、別に定める「マンガ資料に関する選定基準」によるものとする。ただし、児童書における学習的漫画は別に定める本選定基準により十分吟味して選択する。
- 10 資料の内容、著者、出版社、装丁、価格などを総合的に評価して選定する。
なお、具体的には次の点を考慮する。
資料性、独創性、写真・図版、著者、出版社、形態、価格
- 11 切り抜き・切り取りなど、工作を目的に出版されているものや基本的装丁を欠いているものは、収集しない。

○資料別選定基準

[一般図書]

0門 ～総記～

1 情報科学

※技術革新が著しい分野であるため、最新の情報を盛り込んだもの

※基本的な技術書・実用書

※情報・コンピュータと社会の関わりについて書かれたもの

2 図書館に関する資料は、積極的に収集する。

3 全集・選集・叢書については、主要なものはもれなく選定する。

1門 ～哲学～

1 哲学、心理学、倫理学、宗教についての基本書を体系的に選定する。

2 特定の思想・学派・宗教・宗派に偏ることなく公平に選定する。

3 初学者にわかりやすく書かれた入門書・概説書

4 研究書、解説書だけでなく、各分野の代表的原典も選定する。

2門 ～歴史～

1 各分野の基本書を体系的に選定する。

2 一般向けに書かれた歴史読み物から入門書、啓蒙書、概説書、研究書、史料まで、多様な視点で書かれたものを幅広く選定する。

3 歴史観に学説の対立があるので、それぞれの観点に立つ多様な資料

3門 ～社会科学～

1 各分野の基本書

2 様々な学説や主張がある分野なので、多様な観点に立つ資料を幅広く選定する。

3 時代性・社会性と深く結びついている分野なので時事性・話題性のあるもの

4 日常生活・実務上に必要な実用書

5 常に新鮮な、入門書、概説書

6 出版量が多く様々なので、内容に奇をてらったものなどがいないか、よく研究されているかどうか、注意する。

4門 ～自然科学～

1 進展が著しい分野であるため、最新の情報を常に提供できるように留意する。

2 細分化・専門化されている分野であるものの、利用の見込める場合は選択する。

3 入門書・概説書を中心に選定する。

4 最新の分野については、わかりやすく書かれたものを選定する。

5門 ～技術・工学～

- 1 科学技術は進展が著しいため、常に最新の情報を提供できるように留意する。
- 2 技術者や工学系学生が対象の高度な専門書・工学書でも、利用の見込める場合は選択する。
- 3 科学技術の最近の動向についてわかりやすく書かれたもの
- 4 社会的関心を呼んでいるもの
- 5 市民の生活に密接に関連した主題のものについては、実用的で最新の情報が盛り込まれたものを幅広く選定する。
- 6 家政学・生活科学の分野については、実用的価値の高いものを選定する。

6門 ～産業～

- 1 産業社会の最近の動向について書かれたもの
- 2 趣味に役立つ資料
- 3 実生活に深く関わる社会問題や、自然保護など社会的な関心を呼んでいる分野のもの
- 4 社会科学との関連も考慮しながら商業・運輸交通・通信事業も重視する。

7門 ～芸術・スポーツ～

- 1 市民の教養・趣味・娯楽に役立つよう、鑑賞・研究と製作・実技などの両面にわたるもの
- 2 美術全集・画集・写真集・工芸名品集などは、基本的なものを中心にできるだけ幅広く選定する。ただし、極めて高価なものについては、必要度合とのバランスを考慮する。
- 3 趣味として手掛ける人の多い分野については入門書を中心に、また、ある程度上級の人々の要望にも応えられるように、豊富に幅広く選定する。
- 4 市民の趣向・流行に留意し、新しい分野の情報も迅速に提供できるもの。

8門 ～言語～

- 1 市民の教養・学習・実用に役立つもの
- 2 主要な言語及び近隣諸国の言語の基本的資料、研究書の一般向けの平易なもの

9門 ～文学～

- 1 利用が最も多い分野であるため、各分野にわたり幅広く豊富に選定する。
- 2 全集・作品集に入っている作品でも、利用が多く見込まれるものなどについては複本として単行本・文庫本も入れる
- 3 受賞作品や話題になっている作品
- 4 古典の解釈書については、評価の高いものを中心に幅広く選定する。
- 5 各国の文学についても、同様に幅広く選定する。

[参考図書]

- 1 市民の調査・研究に役立つもの
- 2 参考業務に役立つもの
- 3 記事の配列及び扱い方が、通読するようになっているものではなく、求める知識・情報が調べ易く編集されているもの
- 4 目次・索引・参考文献などが整えられたもの
- 5 収集する資料と留意点は以下のとおり
 - (1) 辞典・事典・便覧・ハンドブック
極めて専門的なものを除き、類書を含めて網羅的に選定する。
 - (2) 白書・年鑑・統計書など
最新のもの
 - (3) 人名録など
原則として各主題にわたり幅広く選定する。
 - (4) 地図
一般の地図帳 …… 内容が新しく信頼できるもの
市街図 …………… 全国主要都市のもの
道路地図 …………… 全国版
住宅地図 …………… 酒田市及び庄内地区のもの
地形図 …………… 国土地理院発行のもの
 - (5) 法令集
国の法律・規則などを網羅的に収録したもの
 - (6) 官報
全て
 - (7) 新聞縮刷版
庄内地区の図書館における収集状況を勘案したうえで、デジタル資料を含めて収集する。

[児童図書]

<絵本>

- 1 子供の成長過程で初めての読書体験を提供するものとして、想像力を豊かに養うものを中心に、幼児絵本・昔話・古典の再話・創作など幅広く選定する。
- 2 評価の定まった絵本作家の作品

<おはなし>

- 1 幼年童話
文字を覚え、ひとり読みができるようになった子供に、読書の楽しさを伝え

られるもの

2 児童文学

豊かな想像力を養えるもの。子供の視野を広げて、より高度な読書を促すものを、古典から創作まで幅広く選定

3 評価の定まった作家の作品

<ちしきの本>

- 1 科学への興味を引き立てるもの
- 2 将来へ向けて、子供の視野を広げるもの
- 3 幼児から中学生まで、対象年齢に応じて理解できるように書かれているもの

<紙芝居>

- 1 教育的・道徳的なものにとらわれず、子供が楽しめるもの
- 2 絵と文の調和がとれているもの

<学習的漫画>

- 1 装丁がしっかりしていて、長期利用に耐え得るもの
- 2 一般的に児童にとって難解な内容が、漫画を媒体として比較的容易に理解されるもの（全編にわたって漫画であっても可）
- 3 古典や名作文学作品など。原典が活字で、理解させるために漫画を補助的なものとして使っているもの
- 4 内容が真実性に富み、学問上の真理や歴史上の事実が歪められておらず、健全で偏らないもの（表現手段としてフィクションを採用していても可）
- 5 絵の表現が健全なもの

[視聴覚資料]

- 1 各種映画賞の受賞作品など、文化的又は作品として優れていると評価の定まっている資料
- 2 資料価値の高いもの
- 3 あらゆる層のリクエストに応えられるよう次のジャンルのものを幅広く収集する。

(1) 映像資料

- ・劇映画
- ・アニメーション
- ・スポーツ
- ・音楽
- ・教養（歴史、科学）
- ・ドキュメンタリー
- ・郷土関連

(2) 録音資料

- ・演芸（落語）
- ・朗読（小説等）

[逐次刊行物]

<新聞>

主要な日刊紙を中心に各種

<雑誌>

最新の情報を得る資料であるため、市民の暮らしや娯楽に役立つもの及び調査・研究に役立つものを幅広く選定する。

[官公庁出版物]

- 1 中央官庁、山形県及び庄内地域で発行された出版物は、主要なものは収集する。
- 2 その他公的機関の出版物は、可能な範囲で収集する。

[郷土資料]

- 1 酒田市に関するもの
- 2 資料の一部に酒田の記述があるもの
- 3 庄内地区に関するもの
- 4 行政資料で、酒田市に関する記述があるもの
- 5 酒田出身又は酒田市在住の著者によるもの
- 6 出版地が酒田であるもの

【別紙3】

酒田市立図書館マンガ資料に関する選定基準

1 趣旨

この基準は、日本を代表する大衆文化の一つとして国内外ですでに広く認知されているマンガに関し、酒田市立図書館における資料としての収集範囲及び選定、運用における事項を定めるものとする。

2 収集対象

- (1) マンガ表現そのものを楽しむことを目的に制作されたストーリーマンガ（以下「コミック」という。）、風刺マンガなどで、ひとコマないし数コマで表現されているもの。
- (2) 主に大人を対象としてマンガという表現方法を用いている実用書、コミック、エッセイ等
- (3) マンガ及び漫画家に関する評論・研究書・伝記など。ただし、特定の作品のみを扱った評論などは、原作を購入していない場合は原則として収集しない。
- (4) 次のものは収集対象から除外する。
 - ① 主に児童を対象とした学習マンガ(歴史マンガ、伝記マンガ等)・実用マンガ。ただし、児童書として必要なものは、別紙2で定める「資料選定基準」に基づき選定し、収集する。
 - ② 原画集、イラスト集、ファンブック、原作のダイジェスト版
 - ③ 月刊・週刊などのマンガ雑誌
 - ④ 原作とは別に廉価版として刊行されたペーパーバックなど。
- (5) その他館長が必要と認めた場合は、収集の対象とすることができる。

3 選定の基準

マンガは、出版形態が多様であること、視覚的効果の高いこと、幅広い年齢層が手に取れる資料であることなどを考慮し、次に掲げる基準に照らして資料的価値を重視した選定を行う。

- (1) 日本のマンガ史上重要な作品、資料的価値の高い作品、社会的評価を得ている作品を中心に選定する。
- (2) 原則として刊行がすでに終了しているものを収集対象とする。ただし、刊行が始まって概ね5年を経過し、すでに評定が定まっているものについては、刊行途中でも収集対象とすることができる。
- (3) 各種漫画賞を受賞した作品は、選定にあたり考慮することとする。ただし、選定の必須条件とはしない。

- (4) 演劇など他の芸術領域に影響を及ぼしている作品は、選定にあたり考慮することとする。
- (5) マンガの視覚的な特性を考慮し、内容、表現、描写について、次の点に留意し選定する。
- ・過度の暴力的描写及び性的描写が露骨なもの
 - ・反社会的・非道徳的な事柄を扱っているもの
 - ・人間や生命の尊厳を脅かすもの、人権侵害・差別について配慮を欠くと認められるもの

4 提供について

コミックは、購入ルートが特殊であるうえ、品切れ・絶版・改版が多く、特に多巻ものは全巻を入手することが困難な場合が多い上、他の公共図書館からの借受けも難しいため、当館で未所蔵のコミックについてのリクエストは、受け付けないこととする。

5 保存・除籍について

- (1) マンガ資料は製本が堅牢でないものが多いうえ、利用が多く傷みやすいので、汚破損の激しい資料は除籍を行い、必要なものについては補充する。しかし、品切れ・絶版が多く補充が困難な場合もあるため、除籍の際には留意する。
- (2) 資料的価値の高い作品で絶版になったもの、版型等を変えて出版される可能性がないものについては、たとえ資料の状態が良好でなくとも、除籍せず保存することも検討する。

【別紙 4】

酒田市立図書館除籍候補資料選定基準

この基準は、酒田市立図書館資料の処分に関する要綱第 2 条第 1 号に該当する除籍資料の候補を選定するものである。

1 一般基準

(1) 破損等

- ① 汚損・破損がはなはだしく、修理不能又は修理する価値がないと認められるもの
- ② 書き込み、一部脱落、切り抜き、型紙等の欠落などの事由により利用に供せないもの
- ③ 修理・製本のために要する費用が、買い替える場合よりも高つくもの

(2) 不用

- ① 基本図書などで、買い替えをしたため不用となったもの
- ② 受入れから概ね 20 年を経過し、記述内容が古く、資料的価値を失ったもの
- ③ 利用が著しく低下し、新たな資料で代替できるもの
- ④ 複本があり、利用が著しく低下したもの

(3) 亡失

- ① 火災などやむを得ない事情により利用者が紛失したもの
- ② 蔵書点検で所在不明のまま 3 年を経過したもの
- ③ 利用者が転居などの理由により回収不能のまま 3 年を経過したもの

(4) 移管

その保管を市内外の他の図書館に移すことが適当と認められたもの

2 個別基準

次に掲げるものは、原則として受入から指定された年数が経過したものとする。

種 別	指定年数	摘 要
辞典類	10 年	補遺が刊行されていないもの。ただし、旧版の広辞苑等、他で得られない情報を含む資料は除く。
白書類	5 年	
地図帳	5 年	記載地名等に変化が生じたもの
環境関係	5 年	最近の研究成果が記載されていないもの
地誌	5 年	現状にそぐわないもの

参考図書	5年	現状にそぐわないもの
スポーツ関係	5年	新しい種目、ルールの改正等が取り入れられていないもの
ガイドブック	3年	現状にそぐわないもの
法律書	3年	主要法律に改正等のあるもの
政党関係	3年	現状にそぐわないもの
時事関係	3年	現状にそぐわないもの
学習図書	3年	学習の現状にそぐわないもの
技術関係	3年	技術、実験の説明が古いもの
生活関係	3年	素材、技術、デザイン、流行の古いもの
案内書	3年	就職、受験案内等、現状にそぐわないもの
人権関係	—	人権保護上、問題のあることが裁判等で確定したもの

(1) 新聞

- ① 別に定める保存年限の切れたもの
- ② ①のうち朝日新聞・読売新聞・毎日新聞については、地域面を切り取ったもの

(2) 参考（レファレンス）資料

- ① 汚・破損がひどく、利用に耐えない場合
- ② 複本がある場合
- ③ 類書が多数ある場合

(3) 視聴覚資料

- ① 画像の乱れ、音とび等がはなはだしく、修理不能又は修理する価値がないと認められるもの

(4) 電子資料等

- ① 修理不能又は修理する価値がないと認められるもの

【別紙5】

酒田市立図書館図書等の寄贈に関する取扱基準

1 趣旨

この基準は、酒田市立図書館における図書等の寄贈の受入れについて必要な事項を定めるものとする。

2 対象

この基準における寄贈の対象となる図書等とは、個人又は法人が収集した図書等のうち、原則として次のいずれかに該当するものをいう。

- ① 郷土関係資料（庄内地方に関するもの）
- ② 稀覯（きこう）本
- ③ その他図書館長が必要と認めるもの

3 事務手続等

(1) 事前審査

図書等の寄贈申出があるとき、図書館は、受入に際しての条件（一部受入、所有権、処分）を申出者に対して十分説明し、了解を得たうえで、寄贈図書目録等を参考にして、受入の可否について事前審査を行うものとする。

(2) 決定

前項の事前審査に合格した寄贈図書等は、図書館協議会の了承を得て受入の可否を決定する。

(3) 維持管理

図書館は、寄贈された図書等を利用者に提供できる適切な状態で維持管理するものとする。

(4) 所有権

寄贈図書等の所有権は、酒田市に帰属するものとし、寄贈者は寄贈した図書等について返還要求をすることができないものとする。

(5) 資料等の処分

図書館側の事情による寄贈図書等の処分（廃棄）について、寄贈者はこのことについて異議の申立て及び寄贈図書等に関する照会はできないものとする。

【別紙6】

ライブラリーセンターの蔵書構成（目標）

■一般図書等（新聞を除く）

（単位：冊数）

区分	現 在(平成29年6月現在)				新 館									強化分野
	開架	閉架	計①	構成比	開架	閉架	開館時計②	構成比	開架構成比	増減②-①	増減率	開架最終目標		
0門	2,136	7,125	9,261	5.3%	5,300	5,300	10,600	5.0%	5.2%	1,339	14.5%	6,000		
1門	2,285	3,437	5,722	3.3%	3,300	3,300	6,600	3.1%	3.2%	878	15.3%	3,700		
2門	5,385	6,227	11,612	6.6%	6,600	6,600	13,200	6.3%	6.5%	1,588	13.7%	7,500		
3門	6,251	13,179	19,430	11.1%	11,000	11,000	22,000	10.4%	10.8%	2,570	13.2%	12,400		
4門	4,287	5,389	9,676	5.5%	5,500	5,500	11,000	5.2%	5.4%	1,324	13.7%	6,200		
5門(59以外)	1,766	3,660	5,426	3.1%	3,100	3,100	6,200	2.9%	3.1%	774	14.3%	3,500		
59(家事)	4,307	2,780	7,087	4.0%	7,000	2,000	9,000	4.3%	6.9%	1,913	27.0%	7,900		
6門	2,063	3,210	5,273	3.0%	3,000	3,000	6,000	2.8%	3.0%	727	13.8%	3,400		
7門	6,802	8,599	15,401	8.8%	8,800	8,800	17,600	8.4%	8.7%	2,199	14.3%	10,000		
8門	919	78	997	0.6%	1,500	1,500	3,000	1.4%	1.5%	2,003	200.9%	1,700	○	
910～912	2,628	5,627	8,255	4.7%	4,700	4,700	9,400	4.5%	4.6%	1,145	13.9%	5,300		
913(小説)	8,501	11,529	20,030	11.4%	14,000	14,000	28,000	13.3%	13.8%	7,970	39.8%	15,800	○	
914～	7,982	10,474	18,456	10.5%	10,500	10,500	21,000	10.0%	10.3%	2,544	13.8%	11,900		
大活字	863	646	1,509	0.9%	1,260	800	2,060	1.0%	1.2%	551	36.5%	1,400		
まんが	446	239	685	0.4%	1,260	0	1,260	0.6%	1.2%	575	83.9%	1,400	○	
郷土	1,420	18,763	20,183	11.5%	2,800	17,500	20,300	9.6%	2.8%	117	0.6%	3,200		
YA	959	1,275	2,234	1.3%	5,000	2,000	7,000	3.3%	4.9%	4,766	213.3%	5,700	○	
ビジネス	584	0	584	0.3%	1,500	0	1,500	0.7%	1.5%	916	156.8%	1,700	○	
参考図書	2,166	1,365	3,531	2.0%	2,200	1,360	3,560	1.7%	2.2%	29	0.8%	2,500		
AV	1,195	2,780	3,975	2.3%	2,000	1,000	3,000	1.4%	2.0%	-975	-24.5%	2,300		
雑誌	449	5,798	6,247	3.6%	1,300	7,000	8,300	3.9%	1.3%	2,053	32.9%	1,500	○	
計	63,394	112,180	175,574	100.0%	101,620	108,960	210,580	100.0%	100.0%	35,006	19.9%	115,000		
比率	36.1%	63.9%			48.3%	51.7%								

■児童図書

区分	現 在(平成29年6月現在)				新 館									強化分野
	開架	閉架	計	構成比	開架	閉架	計	構成比	開架構成比	増減	増減率	開架最終目標		
0門	180	168	348	0.8%	300	300	600	1.0%	1.0%	252	72.4%	300	○	
1門	297	163	460	1.0%	400	400	800	1.3%	1.3%	340	73.9%	500	○	
2門	579	825	1,404	3.2%	1,000	1,000	2,000	3.2%	3.2%	596	42.5%	1,100		
3門	994	761	1,755	4.0%	1,300	1,300	2,600	4.2%	4.2%	845	48.1%	1,500		
4門	1,755	1,922	3,677	8.4%	2,600	2,600	5,200	8.4%	8.4%	1,523	41.4%	3,000		
5門	748	670	1,418	3.2%	1,000	1,000	2,000	3.2%	3.2%	582	41.0%	1,100		
6門	427	367	794	1.8%	600	600	1,200	1.9%	1.9%	406	51.1%	700		
7門	1,009	892	1,901	4.3%	1,400	1,400	2,800	4.5%	4.5%	899	47.3%	1,600		
8門	279	290	569	1.3%	400	400	800	1.3%	1.3%	231	40.6%	500		
9門	5,518	8,307	13,825	31.5%	9,500	9,500	19,000	30.8%	30.8%	5,175	37.4%	10,800	○	
絵本	9,545	6,503	16,048	36.6%	11,000	11,000	22,000	35.7%	35.7%	5,952	37.1%	12,500	○	
大型絵本	148	34	182	0.4%	200	200	400	0.6%	0.6%	218	119.8%	200	○	
紙芝居	662	499	1,161	2.6%	800	800	1,600	2.6%	2.6%	439	37.8%	900		
AV	256	48	304	0.7%	300	300	600	1.0%	1.0%	296	97.4%	300	○	
計	22,397	21,449	43,846	100.0%	30,800	30,800	61,600	100.0%	100.0%	17,754	40.5%	35,000		
比率	51.1%	48.9%			50.0%	50.0%								
合計	85,791	133,629	219,420		132,420	139,760	272,180			52,760		150,000		

(※) 0門(総記) 1門(哲学) 2門(歴史) 3門(社会科学) 4門(自然科学) 5門(技術・工学) 6門(産業) 7門(芸術・スポーツ) 8門(言語) 9門(文学)

酒田駅前まちづくり シンポジウム

まちづくりと図書館の関係とは？

2017.12.10(日)

酒田市公益研修センター大ホール（東北公益文科大学内）

当日のスケジュール

- 1 開 会 13:30
- 2 あいさつ 酒田市副市長 矢口 明子
- 3 基調講演 13:40～
 - (1) 演題 「武蔵野プレイス ～新しいタイプの公共施設を目指して～」
講師 公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団理事長 前田 洋一 氏
 - (2) 演題 「子どもの声は未来の声 ～本がひととまちをつなぐ～」
講師 岐阜市立図書館館長 吉成 信夫 氏
- 4 パネルディスカッション 14:50～
「酒田駅前のまちづくりと魅力あふれる新しい図書館を目指して」
- 5 閉 会 16:30

酒田駅前再開発の現状については、平成 28 年 6 月に事業者が決まり、現在、設計作業を進めています。

民間と公共施設の合築、複合施設になっています。公共施設部分であるライブラリーセンターは、現在の中央図書館を移転します。

本日は、新しい図書館づくりを通じてまちづくりに取り組む「図書館を核としたまちづくり」の先進事例 2 つの講演とパネルディスカッションを行います。なぜ駅前に図書館なのか、何を目指しているのか、酒田のまちづくりをどうしていくのか、みなさんと議論し、共有できる機会にしていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



講師紹介

【基調講演者・パネリスト】

前田 洋一氏

(公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団理事長)

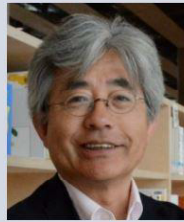


昭和 53 年武蔵野市役所入庁、以後市民部、総務部、企画部、教育委員会(新中央図書館建設に携わる)、平成 18 年企画政策室新公共施設開設準備担当課長、平成 20 年教育委員会教育部参事兼武蔵野プレイス開設準備室長、平成 23 年公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団へ派遣(常務理事兼武蔵野プレイス館長)、平成 25 年武蔵野市役所議会事務局長、平成 27 年事業団理事長就任し現在に至る。

【基調講演者・パネリスト】

吉成 信夫氏

(岐阜市立図書館館長)



東京のコンサルタント会社役員などを経て、1996 年岩手県東山町(現一関市)に家族とともに移住。1997 年～2000 年、同町の「石と賢治のミュージアム」研究員を務め、企画構想段階から事業を推進。2001 年、廃校を利用した「森と風のがっこう」を開校、2001 年から 7 年間、県立児童館「いわて子どもの森」初代館長を務めた。NPO 法人岩手子供環境研究所(森と風のがっこう)理事長を務め、平成 27 年 4 月から岐阜市立図書館長。

【コーディネーター】

野末 俊比古氏

(青山学院大学准教授)



学術情報センター助手、文部省社会教育官、青山学院大学文学部専任講師・助(准)教授、国立情報学研究所客員助(准)教授などを経て、現職。2010～11 年英国シェフィールド大学情報学大学院に客員准教授として滞在。国・自治体・大学の図書館関係の委員・研修講師を多数担当、現在は日本図書館協会図書館利用教育委員会委員長、調布市図書館協議会委員長などを務める。専門分野は図書館情報学・教育情報学、関心領域は情報リテラシー教育・図書館政策など。

【パネリスト】

倉田 直道氏

(工学院大学名誉教授)



CDI、都市計画連合アトリエ、カリフォルニア大学都市地域開発研究所、HKS アソシエイツ(サンフランシスコ)、工学院大学建築学部まちづくり学科教授などを経て現在、工学院大学名誉教授、(株)アーバン・ハウス都市建築研究所 代表取締役、酒田駅周辺整備事業者選定委員長、酒田駅周辺整備調整会議委員。

【パネリスト】

中原 浩子氏

(東北公益文科大学特任講師)



庄内を舞台にした映画「おくりびと」をきっかけに酒田市に移住。株式会社ベネッセコーポレーション幼児通信教育部、学習塾アクアランゲージスクール代表、庄内町観光協会観光専門員、ホテルリッチ&ガーデン酒田 庄内大好きプロデュース室室長を経て、2014 年から東北公益文科大学特任講師。同大学生で組織された酒田おもてなし隊の大隊長。酒田コミュニケーションポート(仮称)整備検討委員会委員。

【パネリスト】

小林 凜生さん、金野 龍さん(酒田光陵高校生徒会)



校訓「進取 創造」のもと、「一人ひとりが輝ける未来」を目指して、教育活動を展開。「地域起点」をキーワードとし、「公益」「環境」「国際化」「情報」をキーワードとして、総合選択制による新たな「まなび」ができる学校、スポーツ・文化活動の充実した学校、地域との連携や交流を推進する学校、変化する社会に対応できる人材の育成を目指している学校である。

基調講演

前田 洋一氏

公益財団法人武蔵野生涯振興事業団理事長

「武蔵野プレイス
～新しいタイプの公共施設を目指して～」



武蔵野プレイスとは

平成 23 年開館。昨年度の年間来館者数が 195 万人を記録した。東京都武蔵野市の武蔵境駅から徒歩 1 分に立地。武蔵野プレイスの正式名称は、「武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス」。

4 つの機能

図書館

市民活動支援

青少年
活動支援

生涯学習事業

▼ 連携・融合

新しい価値を生み出す、一歩上の付加価値サービスを

提供できる新しいタイプの公共施設

配置の工夫をし、複数の機能が集まるメリットを最大限に活かした施設とした。

→ 従来型の公共施設の枠組みを超えて、利用者の多様な活動や利用に応じ、個々の機能の役割を越えた新しいサービスを提供することを目指した。機能が相互に連携し、幅広い市民による交流の「場」となるようにした。

「滞在型図書館」を目指す 武蔵野プレイスの7つのキーワード

① 目的利用から状況利用へ

開館時間を長くしたり、カフェを設置したりして施設自体に魅力を持たせ、目的がなくともふらっと立ち寄ったり、状況に応じて施設を訪れる人を増やした。職員のミッションは、さまざまな目的をもった利用者がさまざまな「居方」、過ごし方を可能にすることである。

② 新たなターゲット

ビジネスワーカーにも利用して欲しいという思いから、図書持込可能でアルコールも提供するカフェや書斎のようなワーキングデスクなどさまざまな場を用意した。

④ 貸出、返却などの自動化

司書が利用者の声をじっくり聞けるよう、機械でできることは機械へ任せている。当日返却された本を見える化した仮置きコーナーも好評である。

③ 賑やかな図書館

いろいろな使われ方をするために、1階はミニコンサートもできる多目的な空間、2階の児童書コーナーは1階の音が吹き抜けを通して入ってくるなど、従来の図書館にはない空間とした。

⑤ 雑誌タイトル数の充実

雑誌の即時性や専門性、娯楽性に着目し、約600誌の雑誌が多くの方に利用されている。

⑥ 敷居をさらに低く

市の緩やかな窓口の1つとして、ちょっとした課題解決の受け皿となるようなウェルカムな雰囲気作りを大事にしている。

⑦ 青少年へのアプローチ

実は、青少年の居場所となる公共施設が意外と少ない。青少年フロアは最低限のルールとし、お喋りや勉強、飲食可などそれぞれが自由に過ごせることで楽しい空間になっている。

他にも・・・

「利用者の声コーナー」を1階の1番良い場所に設置。要望に対してほぼ全て回答している。開館当初は1階のカフェへの反対意見が多かったが、丁寧にミッションを説明し続けることで、応援してくれる市民が出てきて、職員の励みとなった。

貸出冊数 100万冊 (プレイスのみで)
(蔵書数 市内3館全体で90万冊)

貸出冊数 > 蔵書数
極めて異例な現象

利用者の役に立つ施設、未永く愛される施設を目指して、利用者が施設内のさまざまな機能を違和感なく利用できるよう敷居を低くし、日常に密着した施設となるよう、これからもがんばっていきます。



基調講演

吉成 信夫氏

岐阜市立図書館館長

「子どもの声は未来の声

～本がひととまちをつなぐ～」



10

平成 27 年 4 月に全国公募に応じて「ぎふメディアコスモス」の中にある中央図書館を含めた岐阜市立図書館の館長に就任。

ぎふメディアコスモス

平成 27 年 4 月に開館。開館 1 年目で 120 万人を超す利用者で賑わっている。図書館を中心に、市民活動センター、ホール、アートのアトリエや飲食店、コンビニ等からなる複合施設で、岐阜市の中心市街地に立地している。なぜこの場所だったかという、衰退した商店街に住み着き始めた新しいまちづくりをしている若い人達など新しい人の対流を中心市街地におこすためである。そこで、「滞在型図書館」を目指した。

図書館の方針・・・市民に寄り添った、身近な「滞在型図書館」

モットー・・・ここにいることが気持ちいい、何度でもここに来たくなる、
いつまでもここにいたくなる

図書館の理念

・・・子どもの声は未来の声

赤ちゃんから高校生に至るまで、子どもたちの育ちを末永く見守る場所でありたい。利用者の方の理解もいただきながら、お子さんが少しざわざわしても一緒に見守る。それと同時に、親が子どもに公共の場のマナーを教える場としてもらいたい。図書館は「公園であり、広場である」という考え方である。

「親子のグローブ」と呼んでいる場所は、見渡しはきくが包まれている感じがして、お母さんたちの社交場になっている。午前中から混み、親子で本を読んだり、ゴロゴロしてもよく、家のリビングや縁側にいるような感覚で過ごせる空間にしている。

当初掲げた方針

次世代型図書館の6つの柱

①企画イベントの実施

- ・効果的な集客イベントによる話題の喚起
- ・日常的連続イベントによるメッセージ発信

②子どもの育成/サードプレイス

- ・読書の重要性啓発
- ・学校図書館の活性化

③郷土の魅力

- ・郷土資料の充実
- ・特色あるアーカイブコレクション

④ビジネス支援

- ・起業ニーズの発掘
- ・創業支援に関する資料提供

⑤本がつなぐひと・まち

- ・周辺地域への来館者の回遊の促進
- ・本を通じた人材発掘

⑥図書館ベース事業

- ・図書館連携
- ・分館との企画連携
- ・司書の選書力及びサービスの向上

図書館機能



①「まちとつながる ひとつつながる (=市民と一緒に図書館を作っていく)」

②「学校と図書館の連携」

結果...

40歳以下の利用割合

30%弱 → 58.7%へUP

開館1年目で

123万3965人来館

※目標100万人

図書館らしい図書館ではなく、まち全体としてどうなったか、まちなかとどういう関係が作れるのか、図書館や本を通じてどんな楽しい人に出会えるのか、などを考えられる図書館にしたい！来場者数が多いからOKというわけではない！

具体的な活動

- ・朝のブックトーク
- ・書架のディスプレイ
- ・館長に手紙が出せる郵便局
- ・こども司書の育成
- ・わんこカートの制作、投入
- ・文学散歩マップ
- ・POP作り
(ヴィレッジバンガードを目指す)
- ・ビジネス相談 など

図書館から離れてしまった人を振り向かせたい！

図書館以外に本を置くスペースがあって、本で人をつないだり、会話できたりするスペースがそこらじゅうにあるまちにしたいです。これからの図書館に必要なのは、「デザインができる司書」と「歌って踊れる司書」です。そうしたら図書館は楽しくなりますよね。



パネルディスカッション

「酒田駅前のまちづくりと魅力あふれる 新しい図書館を目指して」

コーディネーター：野末俊比古氏

パネリスト：前田洋一氏

吉成信夫氏

倉田直道氏

中原浩子氏

小林凜生さん

金野龍さん

パネルディスカッションでは、テーマである「酒田駅前まちづくりと魅力あふれる新しい図書館を目指して」の「魅力あふれる」というところについてパネリストのみなさん、会場のみなさんと一緒に考えました。

また、前田理事長と吉成館長の講演を聞いて、酒田にどう活かしていくかを考えました。



野末先生

まず、まちづくりにおける公共施設の役割について考えてみましょう。今回の**酒田駅前の再開発全体の概要、事業の狙い、それから公共施設である酒田コミュニケーションポートの役割、そこにかかる思い**などを倉田先生からお話いただきます。

衰退した駅前を活性化するために再開発をしても、うまくいくとは限らないのが現状です。しかし、酒田市のように図書館を入れたことで、人が集まる場所になったという事例をいくつか見えています。老若男女から1年を通じて常に利用される図書館は、まちづくりという観点から非常に適切な施設だと感じていました。酒田市の施設配置の1番大きなポイントは、**広場を中心に持つことで、人々の居場所として繋がるようにしたことです**。また、図書館のポイントは、市民の皆さんが気楽に立ち寄れるよう、広場に面する側に縁側や土間のような、**外部と繋ぐスペースを設けた**ことです。

図書館が職場と家庭の間にあるもう1つの居場所になるように、「**人が主役**」の**図書館**にすべきだと思います。



倉田先生



ありがとうございました。滞在型を目指すということは、滞在する人がどう動くかをデザインするということだと思います。次に、中原先生からは公共施設の**ソフト面**についてお話をいただきます。

今回の駅前再開発は、図書館をつくるということではなく、「コミュニケーションポート」です。コミュニケーションとは、人と人がつながることです。**人、情報、知恵、知識、そしてみなさんがお持ちのスキル、技術、夢や思いが集まる場所、それが駅前にできるのだと思っています。それをつくるのは、私たち市民です。**行政だけではできません、みなさんと一緒になってつくっていきましょう。武蔵野市や岐阜市の素晴らしい前例をもとに、せっかक्तつくるのですから「ありきたり」ではないものをつくりましょう。観光の視点から言うと、この図書館がデスティネーション（目的地）として、他の土地の人がうらやむ、ここに来てみたいと思うような場所をつくれればと思います。



中原先生



コミュニケーションポートの中の図書館はライブラリーセンターと呼ぶんですね。何か思いがあったのでしょうか。

「図書館」と言ってしまうと、どうしても本を借りて返すだけの1つの役割を想像してしまう。コミュニケーションポートの中のライブラリーセンターということで複合的な役割を担えるのだと思います。



ありがとうございました。
前田さんと吉成さんに、**図書館を中心とした公共施設がまちづくりにどのように関わっていったのかと、酒田の計画に対する感想やコメント**をいただければと思います。

酒田市の計画を拝見して、私たちと通ずるところが多いと感じ、仲間が増えたようで嬉しく思っています。

武蔵野プレイスとまちづくりの関係ですが、**武蔵境駅前の立地を生かしたことが大きい**です。**施設ができたことでまちのイメージもアップし、住民も誇りを持ち、まち全体が活気づいてきた**ように思います。

部下たちによく、「この施設ができることで武蔵境地区の地価をあげようじゃないか」と言っていたのを思い出します。



前田先生

ぎふメディアコスモスは、中心市街地の1番北側に施設があり、駅から歩くと30分かかります。**地の利があることは非常に重要で、酒田市の計画は駅前ということですから、良く、羨ましい**と思います。

酒田のまちにあるもの、地元を掘っていくといろんなものが見えてきます。宝の持ち腐れにならないよう、**図書館に蓄えながらも新しい時代に合わせて分かりやすく伝えていくこともライブラリーセンターの「メディアとしての役割」**だと思います。



吉成先生



ありがとうございました。

会場の皆さんより、画面上（※）にたくさんの質問やご意見をいただきましたが、「若い人や子どもたちが笑顔で過ごせる場所になってほしい」という意見がみなさんの賛同が多いですね。

倉田さん、中原さん、これまで計画を作ってきた中で、若者や子どもたちへの思いはどんな議論があったのでしょうか。

細かいところはまだ検討中ですが、子どものスペースのすぐ隣には大人のスペースもあるような、**市民の方が気楽に立ち寄れる空間を作りたい**と思っています。先程、吉成さんの講演にあった、相互にそこで見守る関係も生まれるだろうと思います。

1つのスペースをいろいろな目的で上手に使う、最近はそれを「重ね使い」と言います。**限られたスペースを利用する中で、新しい人のつながりが生まれることを期待**しています。



お子さん連れのママさんたちが遠慮なく、子どもたちが泣いてしまうのが怖くて行けないことがないように、気にしないでいいような場所になってほしいです。



※イマキクというシステムを使い、来場者の方が携帯電話から投稿した意見がスクリーン上に表示されています



今世の中で注目されている図書館のほとんどすべてが**複合施設ですが、うまく運用していく、活用していくポイント**を前田さんと吉成さんにお伺いします。

一番手っ取り早いのは「**組織を一つにしてしまう**」ことです。各々の担当は同僚ですから、基本的にコミュニケーションは担保できます。可能でしたら組織を一つにする、もしくは緩やかな集合体にする事で連携の可能性は高まると思います。



当館は開館してまだ約2年半なので、連携できているかというところでもありませんが、**市民の力を使いながら、だんだんと周りの課とも連携を進めていく**、その途上にあるという感じだと思います。



ありがとうございました。

施設内だけでなく、コミュニティ全体で連携する時代に入ってきているんですね。続いて、パネルディスカッション2部に移りたいと思います。**2部では、「魅力あふれる新しい図書館について考える」ということで最初に光陵高校生のお二人に学校のみんなで考えたことをプレゼン**してもらいます。



私たち光陵高校生徒会執行部は、**どのような場面でライブラリーセンターを活用するか**話し合いました。

登下校で電車を使っている生徒が多いので、**時間をつぶしたり、放課後に友達と遊んだり、テスト勉強や調べ物などで使用したい**と考えています。

ライブラリーセンターに欲しい機能は、子どもたちを対象にしたヒーローショーを開催すれば、家族連れが足を運ぶ機会になると思いました。

他にも、**電子書籍（タブレット）、アスレチック、本の消毒機、お絵かきコーナー**などが挙がりました。

資格取得のための参考書やレポート作成などができるように**有料の印刷機やコピー機が置いてあったり、部活後に休めたりする場所**があると良いと思います。



小林さん、金野さん



ありがとうございました。

今の発表を聞いて、いいなと思ったところ、あるいは施設全般でも構いませんので意見を伺いたいと思います。まずは、中原さんどうでしょう。

フリーWi-Fiは高校生も大学生も必要ですね。大学生に聞くと、**手紙を書くスペースや庄内の景色が見えたり、歴史が感じられる仕掛け**があると良いのではという声がありました。



前田さんと吉成さんにお伺いしたいのですが、**ビジネスへの支援**、あるいはもう少し広く「**まちづくり**」とか「**まちおこし**」とか、**そういうことへの支援**についてはどのような方針、**コンセプトの議論**があったのでしょうか。

武蔵野プレイスは図書館としては分館なので、たくさんの本や専門的な本を置くのではなく、**ビジネスマンの居場所を確保しよう**ということで、**ワーキングデスクを設置**しました。やりたいことが少しでも完結できるような仕掛けをつくっています。



レファレンスコーナーに週2回、県からコーディネーターとして中小企業診断士の資格を持った人を派遣してもらい、**よろず相談**を行っています。起業の相談が本格的になってくればコーディネーターの仕事ですが、その前段階の相談、**主婦が気軽にやれるようなレベルの起業**を守備範囲としています。さらに本格的になってきたら、専門の部局に行ってもらおうよう紹介しています。図書館は相談がしやすいので、1年目は県の出先機関の倍の相談が来ました。広場がありますので、お店を出すお金がなかったら広場を貸しますよ、というノリでやっています。見えている場所で完結できる面白さがあります。





図書館でなく、民間や市の部局と連携しながらやることもポイントかと思います。倉田さんと中原さんにもお聞きしますが、**ビジネス支援や資格の取得支援等**については、これからどのように考えていますか。

すでに酒田の中にあるので、ライブラリーセンターにコワーキングのような限定されたスペースを設ける必要はないかもしれません。職場でも家でもない、カフェのようなところでちょっと仕事をしようかという感覚はあると思うので、高校生が勉強をしている場でビジネスマンも仕事ができる、**場所をシェアするようなことはあってもいい**と思います。勉強やセミナー、ちょっとしたイベント等**いろいろなことに利用できる場所になれば人が主役の図書館になる**と思います。**市民が積極的に運営に参加する図書館になる**といいと思います。



市民が運営に関わってみんなで作っていくのが大事だと思います。コワーキングスペースについては、大学にもありますし、ライブラリーセンターには場はなくても、**つないであげる人がいればいいのかな**と思います。



つなげていく、まさにハブのような役割になっていくということですね。高校生の発表に、**少人数で利用できるスペース**という話もありましたが、**これもかなり重要なポイント**かなと思います。情報をインプットするだけでなく、活用して発信する場面も図書館に求められていて、典型的に現れるのがイベントスペースだと思います。活動が見えることで地域の人にもわかります。「見る一見られる」の関係、**コラーニング**といいますが、**お互いに何をやっているかが緩やかに見える関係、こんな使い方もある、この活動はイイネ、とお互いに見えることで活動を高めていくことが、最近の公共図書館では行われ始めている**と思います。**図書館は目的ではなく、手段**です。利用者のみなさんのために図書館はあるので、みなさんの夢を実現していくためのものとして、いい図書館ができると思います。では、最後にパネリストのみなさんから一言ずついただきたいと思います。

図書館はまちづくりだと思っています。まちづくりという言葉のほか、最近では「**まちづかい**」という言葉が使われたりします。**図書館を自分たちのものとしてどのように使っていくか、市民のみなさんに参加していただきながら取り組んでいただけたら**と思います。

みなさんの知恵で酒田らしい図書館にしていきたいと思います。



みなさんの夢や思いをこのライブラリーセンターを使って実現していきましょう。できればみなさんが運営側にまわって、一緒になっていいものをつくりましょう。



図書館と他の機能をうまく組み合わせることで、まちづくりにとって、ものすごいパワーが生まれます。

器ができたら、その器に魂を込めるのが市民のみなさんだと思います。**市民のみなさんが主役**です。この施設が家でも学校でも職場でもない、第三の場所として市民に密着した、無くてはならない憩いの場、ワクワクする場になることを祈っています。



間違いなく、**夜の図書館はデートスポット**になります。あと、**烏海山はやはりキーワード**になります。岐阜は岐阜城のあった金華山です。金華山が見えるところが外に出られるようになっているので、夜にちょうちんをつけると岐阜城が浮かび上がってくる。烏海山をどう使うか、とても楽しみです。



自分たちは高校生だけで話し合いましたが、いろいろな年齢層の人たちの話も聞いて貴重な体験になりました。

最後に校長先生から、これだけはアピールしてきて！と言われたのですが、光陵高校の生徒は委員会ではいろんなボランティア活動をしています。公園ボランティア、森林のごみ拾い、河川掃除、インターハイの補助員もやりました。毎年、酒田まつりのお手伝いもしています。

ライブラリーセンターができたら、施設の役に立てるよう協力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします！



最後に 図書館長から一言

今日はパネリストのみなさん、会場にお集まりのみなさん貴重なご意見ありがとうございました。新しい図書館は、ハブ空港として市民や団体などいろんな方が集まって、さまざまな情報を発信するようになっていかなければと思いました。みなさんのご助言をいただきながら、市民のハブとなれるよう頑張っていきたいと思っております。



たくさんのご来場ありがとうございました。
シンポジウムの詳細については市 HP よりご覧ください。

<http://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisakukeikaku/kikaku/ekishuh/en/toshishinnpo.html>



酒田市企画振興部都市デザイン課

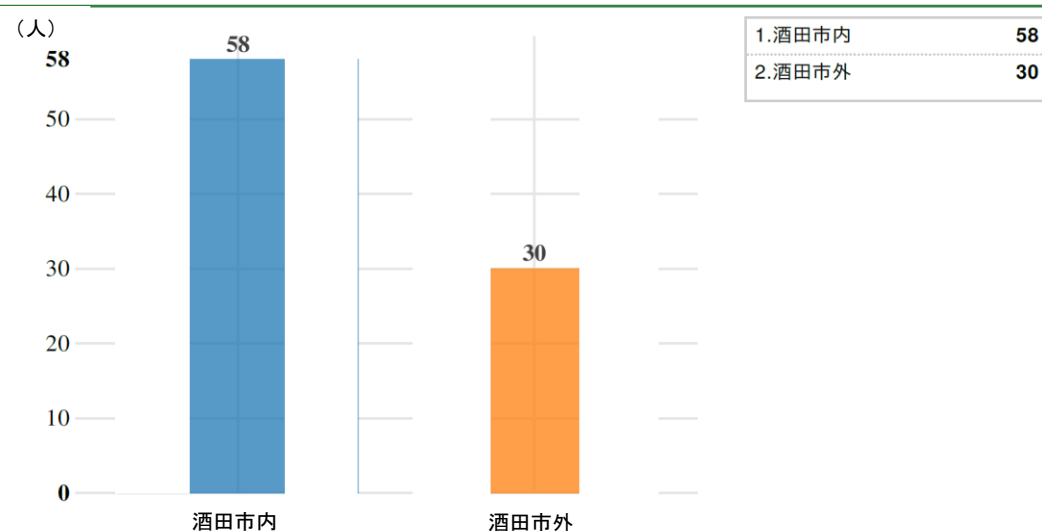


酒田駅前まちづくりシンポジウム

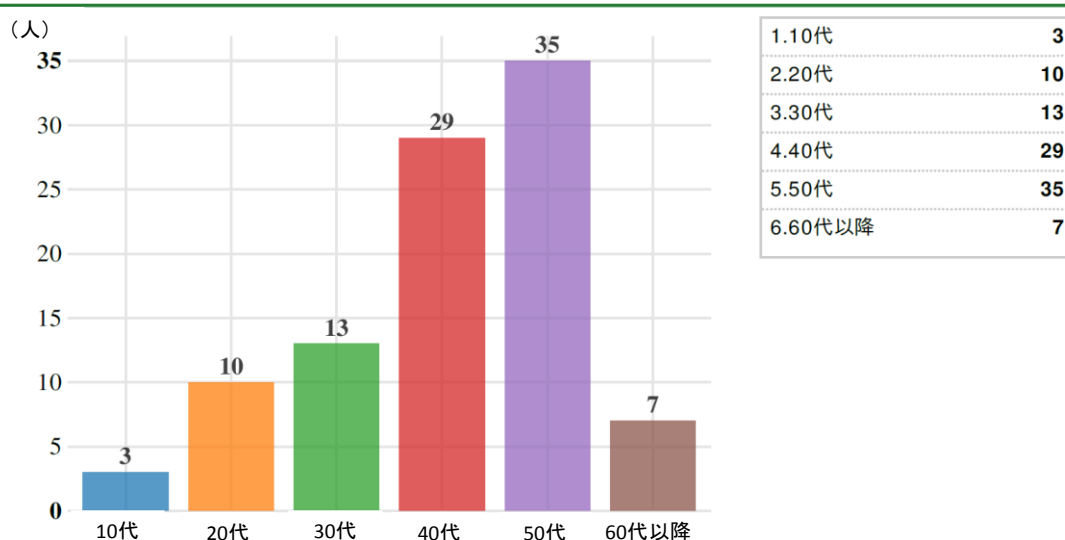
パネルディスカッション会場参加者意見

※ パネルディスカッション中に、来場者の方からイマキクというシステムを使って、スマートフォンから意見や質問を出していただきました。

1. お住まいは？



2. 年齢は？



酒田市シンポジウム（2017.12.10）

3.（酒田駅前の）まちづくりと公共施設について、パネリスト（基調講演を含む）に対するご意見・ご質問をお聞かせください。特定のパネリストへのご意見・ご質問は、パネリストのお名前を記してください。（気になるご意見・ご質問には「GOOD」を押してください。）			
コメント内容	Good	Bad	市の回答・考え方（一部パネリストより回答）
1 酒田市以外の人で利用できないかな。	5	0	・酒田市以外の方の利用も可能です。
2 酒田駅の周りは歩いても楽しくない。図書館だけで本当に集客できるのか？何かのついでに図書館に行くことはないと思う。	5	5	・駅前という立地から、様々な賑わいを創出するため、イベント企画など運営面で工夫が必要と考えています。隣接する民間施設（ホテル、パンケット等）とも連携していきます。 ・図書館について、その集客力は他の酒田市内の観光施設と引けをとりません。その上で、今後新たな利用者層の拡大を図り、駅前周辺や中心市街地全体への波及効果を目指します。 ・多様な居場所づくりを進めていきます。
3 田舎ならではの、郊外にあるショッピングセンターとの関わりや導線についてどうお考えでしょうか？	5	3	
4 駅前という立地が他の地域から見ても利点であることを知ることができた。市民の居場所になるといいと思った。	12	0	
5 今の駅前が少し寂しいので、市民も来訪者も居心地良い場所に。	15	0	
6 成功しているアドバイスを今すぐ実行したくなります。	6	0	
7 考えようでは重い場所。誰でも来られるような取っ掛かりを作るかだと思えます。	2	0	
8 そのスペースだけではなく中心市街地へのアクセス強化や周辺のお店の利用促進を目指すような建物であることに期待します。	3	0	
9 美術展やミニコンサートもやってほしい。	13	0	
10 それぞれのライフワークに合わせた、多様な使い方ができればいいな。	9	0	
11 あそこに行けば何か起こる、いつもなにかやってくるから行こう、という場所にすれば人が集まるのではないか。	10	0	
12 新しいスタイルの図書館に興味がありました！	46	0	
13 ワクワクすっぞー。	9	0	

酒田市シンポジウム（2017.12.10）

14	人口減は止まらないと思いますが、庄内地方の人を回遊させるために鶴岡市とどう連携していきますか。	3	0	・具体的な連携策は検討していませんが、本施設を市外の方々からも積極的に利用してほしいと考えています。また、例えば、観光分野において、庄内地域の情報を発信するなどし、広域的な視点を意識した取組みも進めていきます。
15	酒田市への定住支援コーナーがあるといいと思う。	3	1	・ご意見あったような行政情報のコーナーの充実も図っていきます。
16	酒田のハーバーラジオも駅前にあればよいと思いました。	7	0	・せっかくのご意見ではありますが、ハーバーラジオの設置は、現時点では予定していません。
17	広場に面した店舗には、どのようなお店が入りますか？	3	0	・コミュニケーションポート内カフェ、コンビニ、バス待合、その他検討中のものがあります。
18	観光客などを呼ぶのであれば、もっと観光向けのプランを用意したらいと思います。	8	1	・観光情報センターでは、JRを利用する観光客に向け、様々な情報発信や観光案内機能の充実を図っていきます。デジタルサイネージの利用など発信の方法も工夫していきます。
19	酒田駅利用の観光客の利便性は向上するのでしょうか？	3	0	
20	酒田のグルメ情報も発信していきましょう！	8	0	・駅前にある複数のバス停を集約していきます。 ・大学と駅前をつなぐバス路線については、酒田駅－大学間の循環線を整備し、利便性の確保に努めておりますのでご理解ください。
21	コミュニケーションポートができると公共交通も変わるのかな？	11	0	
22	駅前に素敵な場所ができるのは大変いいことだけど、市民とのつながりを作るためにも大学と駅前の利便性も課題だと思った。	6	0	・賑やかさと静寂さの共存については、静寂閲覧室を設けて配慮していきます。なお、これまでの図書館と違い、人が主役で多様なコミュニケーションを創出するという施設であるという理念に対する理解を深めてもらうよう周知・広報していきたいと考えています。
23	静寂な空間を準備すること、賑やかな図書館を作ることは難しそう。理解を得られるか心配です。	3	1	

酒田市シンポジウム（2017.12.10）

24	吉成先生のような役割を市役所職員が担うのは大変だと思います。どのような方が担うのがベストなのでしょうか。また、そのような方は公募で選出するのが望ましいのでしょうか。	10	0	<p>・館長の公募など、具体的な運営については、今後検討していきます。施設全体を引っ張るリーダーの存在は、運営に重要と考えております。</p>
25	ライブラリーセンターの予想利用者数を教えてください。館長は公募になるのでしょうか？	6	0	
26	図書館が、岐阜市みたいな図書館になるためには、吉成館長みたいな引っ張るヒトが、いないと難しいのかな？	6	0	
27	吉成館長のような名物館長がいたらいいなと思う。	7	0	
28	コミュニケーションポートを引っ張っていきけるリーダーは？	4	0	
29	武蔵野プレイスのように施設内で連携するにはとてもいいと思いますが、酒田でできるコミュニケーションポートでは施設内の連携というのはどのようにお考えでしょうか。	5	0	<p>・観光情報センター協に、図書資料を活用した酒田の情報発信を兼ねる酒田本コーナーを設ける等、機能間の連携を図っていきます。また、民間施設との連携も重要と考えていますので、推進体制の整備を図っていきます。</p>
30	前田先生に伺います。先程のご講演内で、図書館のカウンターは、市の緩やかな窓口としての雰囲気、役割を果たしているとお話がありましたが、司書の皆さんは、行政マンとしてのレクチャー、専門知識を学んでおられますか？そのような機会はあるのでしょうか？	9	1	<p>【前田理事長からの回答】</p> <p>・市に対する必要最小限の知識は、派遣されている市の職員より随時レクチャーしています。従って市の職員のような行政マンとしての専門知識は必ずしもありません。私があつた場で申し上げたかったのは、図書館は図書に関する以外でも、市の相談窓口のつなぎ役としての役割が十分果たせるはずであり、その場で解決できないとしても利用者が臆することなく相談しやすい雰囲気をつくるのが、公共施設の役割として重要ではないかということです。</p>
31	3年前、武蔵野プレイスに行きました。みんなに愛されて利用されている姿を見て感動してきました。いろいろなボランティア団体が打ち合わせしたり、各団体の簿冊が置いてあるスペースがあったと思いますが、自由に公開して閲覧可能だったのでしょうか？岐阜メディアもぜひ行きたいです。	6	0	<p>【前田理事長からの回答】</p> <p>・様々な市民活動団体の存在や活動を知ってもらうために配置している簿冊ですので、もちろん自由に閲覧可能ですし、むしろ積極的に閲覧していただきたいものです。</p>

酒田市シンポジウム（2017.12.10）

32	吉成さんにお尋ねします。今日の参加者もどちらかといえば子育て世代の若い世代の参加はありません。図書館ができたばかりに特にその世代にアプローチしたことはありますか？	8	0	<p>【吉成館長からの回答】</p> <p>・わんこカートきららのお話し会の投入（毎土日開催で定期化）</p> <p>・えほんフェスティバルの開催（3日間）</p>
33	（吉成先生へ）学校との連携をうまく進めるためのポイントは？図書館事務室に脇にある学校連携室とは、どんなことをするの？	1	0	<p>・資料貸出や研修等を行っているようです。詳しくはこちらをご覧ください（岐阜市立図書館の学校連携紹介ページ） https://g-mediacosmos.jp/lib/guide/support/school.html</p>
34	コンセプトは大賛成です。居場所づくり、出会い、学び合いはヘルスプロモーション的に興味ぶかいところ。司書の方とのバトルの実際と、リーダーシップへの理解はいかがでしたか？	5	0	<p>【吉成館長からの回答】</p> <p>・バトルというほどのものは起きませんでした。</p> <p>・特に新たな事業を創る、展示の企画を創るというような場合に、現場で職員と一緒に考える機会が意図的にかかり設けました。開館から一緒に創ってきたという共通感覚は私にも司書にもあると思います。</p>
35	武蔵野、岐阜でアートな活動をしていますか。	3	0	<p>【前田理事長からの回答】</p> <p>・広い意味でのアートな活動は、プレイスにとってもとても重要なアイテムの一つです。年に一度開催しているプレイス全館行事である「プレイスフェスタ」では、必ずアートの視点を取り入れています。</p> <p>【吉成館長からの回答】</p> <p>・なし。複合施設のため、メディアコスモスとしては他セクションでやっています。</p>
36	楽しい図書館ができると、その周りも商業的に賑わうのでしょうか？前田さん、吉成さん如何でしょうか？	5	0	<p>【前田理事長からの回答】</p> <p>・統計上は確認されていませんが、プレイスのことと言えば、プレイスがあるから武蔵境地区に引っ越してきたという方もいらっしゃいますので、その効果は少なからずあると思います。</p> <p>【吉成館長からの回答】</p> <p>・まだわかりません。ただ面白い人のお店は、出現しています。</p>

酒田市シンポジウム (2017.12.10)

37	図書館を整備するにあたって、最も重要なことは何だと思われますか？	3	1	<p>【前田理事長からの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しいご質問ですが、従来の図書館のイメージに固執しないこと。社会も変われば図書館の姿も変わってくるということ（たとえばワクワクする図書館）。その時代や地域に合った図書館の姿が必ずあると思いますので、そのことを追求すべきだと思います。 <p>【吉成館長からの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶれない「考え方」だと思います。
38	吉成氏の講演にあったように、図書館の成長には人の育成がキーだと思います。そのためには、管理手法も影響すると思うのですが、プレイス、メディアコスモスは市直営でしょうか？ 図書館の所管は教育委員会ですか？ また、職員さんの雇用形態はどのようなになっていますか？	6	0	<p>【前田理事長からの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイスは、（公財）武蔵野生涯学習振興事業団が指定管理者として館の管理運営を行っています。所管は教育委員会です。職員はフルタイム職員（いわゆる正規職員）と嘱託職員がいます。 <p>【吉成館長からの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理は直営、所管は教育委員会。職員は正職員と臨時職員です。
39	コミュニケーションポートの中に子育て支援センターの設置は考えているのでしょうか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター自体の設置は考えておりませんが、児童図書エリアを設置し、子育て中の親御さんが過ごしやすい場を準備していきます。子育てに関することについて、レファレンスでご相談いただくことは可能と考えております。
40	子供と一緒に過ごせる図書館になってほしい。	14	0	
41	若者の居場所になればいいな..	49	1	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を担う若い方達も気軽に利用できるよう、多様な居場所づくりを進めていきます。
42	若い人、子供達が笑顔で過ごせる場所になって。	20	0	
43	学校と連携することは良いかな。子供が「連れてって。」って、言われるような楽しい図書館にしてほしい。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒からの積極的な利用促進を図っていくために、学校活動と連携した取り組みを行っています。
44	学校との連携を強くしないと、小中高生は難しいと思います。	8	1	

酒田市シンポジウム (2017.12.10)

45	酒田ではなかなか有料駐車場に進んで止める文化はないと思います。駐車場が無料か有料かによって利用しやすさが変わってくると思います。ぜひ無料にしてほしいです。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車料金については、2時間無料などの一定のルールが必要と考えております。最終的な料金の設定については、今後詰めていきます。
46	駐車場の完全無料化は反対です。中町交流ひろばのように、施設の利用者は無料で利用できるシステムがいいと思う。	15	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ライブラリーセンターの先行オープン時の駐車場確保については、検討中です。
47	今回の計画では先行して図書館棟が完成し、1年数ヶ月後に駐車場棟が完成します。駐車場が無い状況で図書館がオープンすることの弊害は大きいと思いますがどのように思われますか。	8	0	
48	駐車場を無料にすると、バス、鉄道利用者が独占します。ルール作りが難しいですね。	6	0	
49	北前船で栄えた酒田に明治時代の建物で光丘文庫があります。光丘文庫の本は、駅前の図書館にくるのでしょうか。	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・光丘文庫は、現在中町庁舎に収蔵しています。光丘文庫の資料は冊数が多く、また貴重な本もあるため、ライブラリーセンターにすべての資料を保管することができませんので、資料の一部を展示するなどして、相互の連携を図りたいと考えています。

酒田市シンポジウム（2017.12.10）

4. 光陵高校の皆さんの発表を踏まえて、酒田駅前の図書館（ライブラリーセンター）を魅力あるものにするためのご意見をお聞かせください。（いいねと思うご意見には「GOOD」を押してください。）

コメント内容	Good	Bad	市の回答・考え方（一部パネリストより回答）
1 無料Wi-Fiはあると良いですね。	20	0	・無料のwifi設備については、設置する方向です。 ・充電コーナーについては、今後の検討とさせていただきます。 ・映像で酒田を紹介する仕掛けづくりを、検討しております。
2 VRで酒田市を紹介する施設は本当にいいと思います。	9	0	
3 無料Wi-Fiは海外では基本だから外国人の観光には必須だと思います。	11	0	
4 携帯電話の充電は無料でもよいのでは。	9	0	
5 確かに充電ができる場所があると便利です。	11	0	
6 書店を併設するアイデアはいいと思います。	7	0	・せっかくのご意見ではありますが、書店の併設は、現在予定していません。
7 駅前に本屋がないので、本の販売もあったら確かに嬉しいです。	14	0	
8 カフェなんかもほしいです。	17	0	・カフェをライブラリーセンターに隣接して設け、図書の持込みを可能としたいと考えています。
9 本を読めるカフェはすごく魅力的です。	13	0	
10 資格本を置くというのは、経済的に困窮している人たちの勉強できる場を設けることにもつながるため大変良いと思った。	18	0	・ビジネス支援に関する図書の充実を図っていきます。
11 出張に来た方も利用できる場所あるといいですね。	12	0	・パソコン使用可能な席を設ける等、多様な居場所づくりを進めていきます。
12 ビジネスマン用のワーキングスペースいいなと思いました。	18	0	
13 コワーキングスペースを取り入れていただきたいです。	13	3	
14 公益大に市が運営しているコワーキングスペースがあります。そして産業会館にもコワーキングスペースが出来ます。コミュニケーションポートに必要ありますか？	7	2	・コワーキングスペースについて、別途市内にございますので、今回の駅前に特別設けることは考えておりませんが、連携してイベントや講座の企画などは考えられると思います。
15 コミュニケーションポートとコワーキングで連携が取れるといいかもですね。	7	0	

酒田市シンポジウム（2017.12.10）

16 軽い運動スペースいいね！	16	0	・参考意見とさせていただきます。
17 軽く体を動かせるというのはいいですね。	17	0	
18 イベントスペースの少人数利用は賛成です。図書に直接関係無くても、市民がポートに参加できる機会を増やせる良い手段になるも思います。	11	0	・イベントスペースの利用など、今後運営面の検討が必要と考えております。
19 様々な店を集めることはデパートに近い発想で、遊園地みたいな存在になればとても楽しいと思います。	10	0	
20 人を集めるためには魅力的でないといけませんが、その魅力を生み続けられる団体を酒田にどう作るかが問題だと思った。	10	0	
21 高校生はカフェでは何を注文しますか？価格帯はどれくらい？	4	1	【光陵高校生からの回答】 ①コーヒー ②ドーナツ ③ジンジャエール ・価格帯：100円～500円
22 高校生として、図書館でイベントをやりたいと思いますか？やりたいと思うのでは、どんなイベントですか？ヒーローものも良いと思いますが。	5	1	【光陵高校からの回答】 ①本の読み聞かせ。 ②本の作家などを呼びサイン会。 ③劇
23 高校のワークショップで、図書館に行かないという人もいたと思いますが、図書館に行かない理由はなんでしょうか？	4	0	【光陵高校からの回答】 ①欲しい本は購入するから。 ②漫画が少ないから。 ③当たり前だが本しかないから。

酒田市シンポジウム（2017.12.10）

24	高校生は、個室がやっぱり欲しいのかな？	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の施設は、駅前という立地環境であること等から、ぜひ多くの高校生に使ってもらいたいと考えています。個室を設けるのは難しいですが、多様な過ごし方、活動が出来る場所を設けていきます。 ・駐輪場は、整備していきます。 ・年齢層に応じた明確なゾーニングは考えておりませんが、子育て世代は主に1階（児童コーナー）、学生や大人は2階という形で緩やかな住み分けがなされていくものと考えています。 ・子ども達に、楽しんで、親んでもらえるような企画の充実に取り組んでいきたいと考えます。 ・お絵かきコーナーなどの意見について、参考とさせていただき、設計への反映を検討します。 ・親御さん同士のコミュニティが生まれるような居場所の工夫や仕掛けも大事であると考えます。
25	勉強スペースがあった方が良くと思います。ただ勉強する場所にするのではなく大学生も使用し、大学生が高校生に勉強を教える環境があれば良いと思いました。	10	0	
26	高校生が「たむろ」する場所になれば良いですね。	10	0	
27	学生のライブ会場としての利用はどうでしょうか。	10	0	
28	やっぱり高校生から、いっぱい利用してもらえる場所に。	4	3	
29	高校生は就職か進学かを選ぶ機会であるのはもちろんだけど、地元か県外かどちらかに進む人生の分け目なのでどんどん高校生を呼んでほしいなと思いました。	11	0	
30	きっと高校生用の自転車止めるところほしいですね。	7	0	
31	自転車置き場を確保してあげてください。	10	0	
32	学生と大人の方、子育て中の方のコミュニティスペースが別々だと過ごしやすいかと思えます。学生持ち込みの事業も企画から実行までの当事者意識が大切。	8	1	
33	ご当地ヒーロー一緒に作ろう！	18	0	
34	お絵描きコーナーいいと思います！子どもたちと絵本を作るイベントとか楽しそうです。	17	0	
35	子供たちが喜ぶことは親もそこに行きたいと思うので、そこでコミュニティを築いて地元定着を目指してほしい	14	0	
36	絵本作りの講座は今でもあります。本格的ですが。	6	1	
37	落書きスペースいいですね おもいきり書かせたい。	12	0	
38	子どもたちの落書きをただ単に落書きさせるだけでなく、それで一つの作品ができたりすると面白そう。	14	0	

酒田市シンポジウム（2017.12.10）

39	結婚式やるのはいいと思う。東根のまなびあテラスで結婚式してのるのを遠目からみて、いろんなイベントやってるなあと、まなびあテラスに行ってみたくなったから。	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・民間のバンケット事業者と、イベント等の連携について、今後協議していきたいと思えます。今後の参考とさせていただきます。
40	岐阜みたいに図書婚良いですね！	7	1	
41	図書館の本は小説ばかりのイメージなので、漫画があるといいなと思えます。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・本の配置や展示方法など見やすさを考慮していきます。 ・漫画図書の充実を図っていきます。
42	本が多すぎて読む本を探すのに時間がかかるから、おススメの本は表紙を見せてほしい。	8	0	
43	すべて禁煙にしてください。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設内は禁煙となります。 ・民間施設も含めた再開発エリア内の取扱いは、今後検討していきます。
44	建物内すべて禁煙は当たり前だと思います。でも、外のどこかに喫煙スペースは準備してほしい。愛煙家があまりにも可哀想。	11	4	

酒田市シンポジウム (2017.12.10)

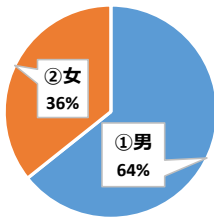
5. 酒田駅前の図書館（ライブラリーセンター）へのエール・期待をお聞かせください。（いいねと思うご意見には「GOOD」を押してください。）				
	コメント内容	Good	Bad	市の回答・考え方
1	今回紹介された図書館のいいとこどりしましょう！	6	0	・応援ありがとうございます。魅力ある施設運営に向けて、取り組んでいきます。
2	武蔵野、岐阜に負けないように！	6	0	
3	活気ある酒田にしましょう。	5	0	
4	駅前に夢を！	4	0	
5	今後も、このような市民も参加できるディスカッションを行って頂きたいです。	6	0	
6	市民だけでなく、多くの人たちの居場所になることを願っています。	3	0	
7	盗めるものは盗みましょう！	3	0	
8	市民や学生が、参加も利用もしやすい図書館になってほしいで	4	0	
9	新しい図書館期待しています。	2	0	
10	活きた図書館を創りましょう！	5	0	
11	まちづくりは子ども達が中心です。頑張ってください。三陸の山田町もそうして復興に向かっていきます。	2	2	

H29.12.10酒田駅前まちづくりシンポジウム アンケート結果

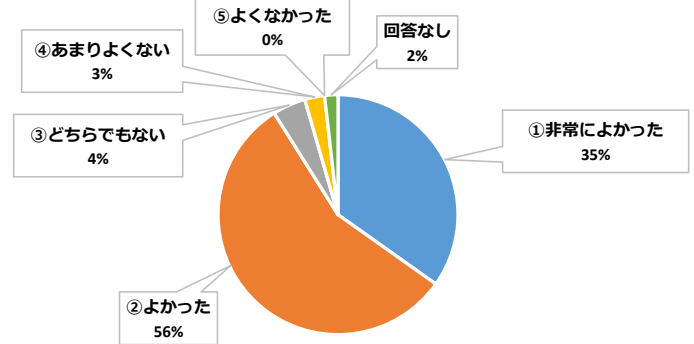
※来場者の皆さんにアンケート用紙を配布し、シンポジウム終了後に回収したものです。

○ アンケート総数 112名（シンポジウム参加者数200名）

問1 性別



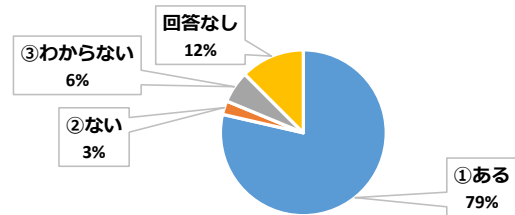
問2 今回のシンポジウムはどう思いましたか？



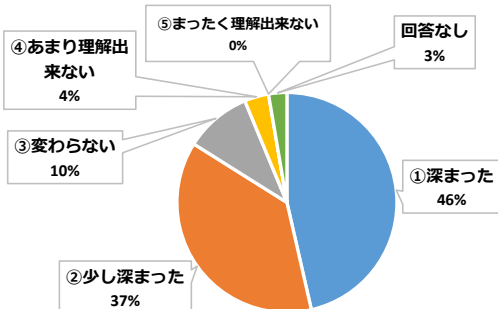
問3 問2の理由として当てはまるものはどれですか？（複数回答可）



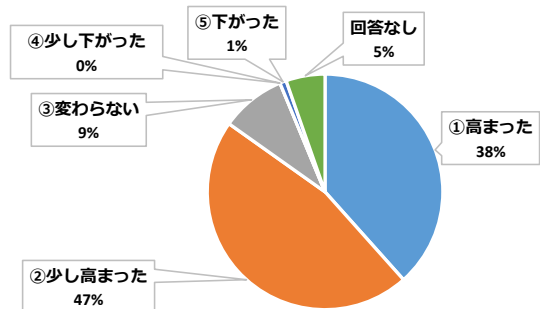
問4 シンポジウム内で取上げられた取組みの中で興味を持ったものがありましたか？



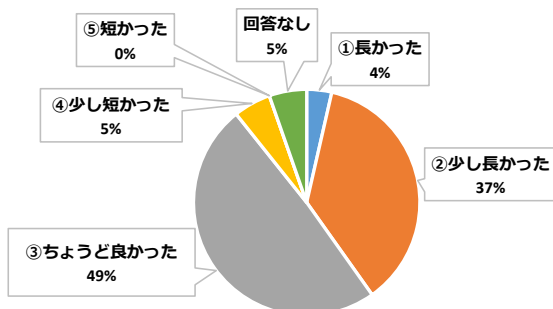
問5 今回のシンポジウムをきっかけに、駅前開発への理解は深まりましたか？



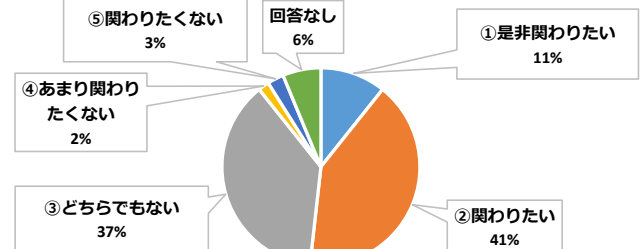
問6 今回のシンポジウムをきっかけに、公共施設に対する期待感はどう変わりましたか？



問7 シンポジウムの時間はどうでしたか？



問8 今後、公共施設の運営等へボランティアで参画することについてどう思いますか？



アンケート 問3～7

No.	当てはまるもの	問3「問2（今回のシンポジウムのどう思いましたか？）の理由」	市の回答
1	【①基調講演の事例選定】	成功事例として、インパクトがあり楽しく感じた。参考になった。	・新しいタイプの図書館として、2つの図書館の取組みも参考にしながら取り組んでいきます。
2		図書館の在り方についてのテーマとしては大変良かった。	
3		吉成さんのお話に感動した。	
4		図書館の運営について考えさせられた。	
5		図書館が単なる本の貸し借りの場所ではなく、みんなが行ってみたいくなるという魅力のある場所になっていること。アイデアがどちらにもいるということに尽きる！！	
6	【②コーディネーター・パネリストの選定】	高校生に入ってもらったのが良かった。聞いている大人にとっても、ディスカッションの内容がより身近なものに聞こえる。	・ご意見、ご感想ありがとうございます。開催時期等については、今後の参考とさせていただきます。
7		事例やパネルディスカッションの内容が面白かった。	
8	【③時間配分設定】	講演の時間が長すぎなくて良かった。	
9	【⑤シンポジウムの日時】	10月か11月に開催してほしい。	
10		平日開催をお願いします。	
11	【⑥会場設定】	公益ホールだったこともあり、来やすかった。	

アンケート 問3～7

12	【その他】	私は観光に関わっていますので、我々が出来る酒田コミュニケーションポートへの協力出来る部分のヒントをもらったように思います。	・観光情報センターにおいても、市民の皆さまにご協力いただきながら進めたいと考えていますのでよろしくをお願いします。
13		酒田の低迷を感じていました。隣市との隔差も感じました。これらの事が忘れられる様な希望を感じ取りました。人口流出を止められる様な施設運営を色々考えねばと思いました。止まらないかなあ……？	・駅前という立地から、さまざまなにぎわいを演出するために、イベント企画など運営面で工夫が必要と考えています。隣接する民間施設（ホテル・バンケット等）とも連携していきたいと考えています。
14		新しい方向性を持ったライブラリーを考えている、やりたいという気持ちは伝わった。酒田市が駅前開発でどういう町づくりを目指しているか（コンセプト）少しわかった。	・ご感想ありがとうございます。
15		イマキクの導入での意見交換が良かった。	

アンケート 問3～7

No.	分類	問4「シンポジウム内で取上げられた取組みの中で興味を持ったものがありましたか？」	市の回答
1	【基調講演事例】	岐阜市「子供の声は未来の声」コンセプトの重要性を感じました。武蔵野プレイスもコンセプトが素晴らしいです。	・素晴らしい取組みが沢山ありましたので、参考とさせていただきますと考えています。
2		武蔵野プレイスの飲酒のできる図書館。	
3		リビングルームのような図書館（武蔵野市）。	
4		岐阜のメディアコスモス。子育て中の親が、子と共に過ごせる時間を持てる場所があるということ。とても素晴らしい！！	
5		「デザインできる司書 歌って踊れる司書」について興味を持った（岐阜市）。	
6		ぎふメディアコスモスの親子のグローブ（岐阜市）。	
7		「ぎふメディアコスモス」は子供の本と関わっている自分にとって憧れの取り組みに思いました（岐阜市）。	
8		「図書館の敷居を下げる」「市民が本棚を作る」という考え。	
9	【図書館機能・全般】	図書館がカフェだったり、中高生専用スペースを設けたりと、おもしろいと思いました。駅前に、図書館に行きたいと思える施設ができればと思います。	・ご感想ありがとうございました。
10		その町ならではの、酒田発みたいなスタイルを考えたいと思った。	
11		図書館と地域の発展について興味を持った。	

アンケート 問3～7

12	【図書館・子育て関係】	親子で遊べるスペース、イベントスペース。	・施設内には親子でくつろげるような読み聞かせスペースや授乳スペースを設ける予定です。また、多様な席を設けて、赤ちゃんから高齢の方までさまざまな世代の方が、さまざまな過ごし方でくつろげる施設にしていきたいと考えています。
13		子ども司書制度。	
14		図書館が小さい子どもから、障がい者、高齢者が楽しんで集える場所になればと思っています。授乳できたり、赤ちゃんが昼寝できたりすれば、若いママはホッとするでしょう。	
15	【図書館・情報発信関係】	市民参加でのライブラリーセンターになるように行政も常に色々発信してほしい。	・情報発信については、ホームページやSNS、デジタルサイネージなど様々な媒体を使って皆さんにお伝えしていきたいと考えています。
16	【図書館・飲食】	アルコールの提供、帰りが心配であるが？	・お酒を大量に飲んで騒ぐ場所とは考えていません。当然、利用者の方より雰囲気分かってもらい、お酒を嗜む程度の場所として、共存していけるようにしていきたいと考えていますが、運用等については、今後検討してまいります。 ・帰りについては交通ルールを遵守の上、公共交通機関を利用していただくなど、自己責任となります。
17	【図書館・人材育成】	司書さんの意欲が高まる図書館はいいねと思いました。ぜひそのような方を採用してください。	・館長の公募などの具体的な運営については、今後検討していきます。司書に関しては、研修や勉強会などを開催し、個々のスキルアップを図れるような環境を整え、市民の皆さんのニーズに応えられる人材を育てていきたいと考えます。
18		司書のワークショップ、デザインできる司書、歌って踊れる司書。	
19		職員や市民の意識の変革が必要なこと。	
20		館長の公募、役割。	

アンケート 問3～7

21	【図書館・若者世代】	働く世帯も対象にした図書館。	・今まで図書館の利用率が低い若い世代やビジネスマンの方にも利用していただけるよう、開館時間の延長やパソコンが利用できる席、Wi-Fi設備の設置等を考えています。また、学校との連携も大事だと思っておりますので、調べ学習や夏休みの課題等支援なども行っていけるよう検討して参ります。
22		若い人達に優先的に開放すべきとした内容。	
23		とにかく人が集まらないと前に進まないで、小中高幼児に届くイベント。	
24		学校図書館との連携。	
25	【図書館・機能、イベント】	少人数や中高生専用で使えるスペース。	・自由に活動できる多目的スペースを設ける予定です。また、2階にはラーニングcommonsスペースを設け、中高生や大学生がグループで学習できるスペースを設けます。どのようなイベントや施設活用ができるか検討していきたいと考えています。
26		魅力あるイベント。ヒーローショー。軽トラ市。	
27		継続性のあるイベントの開催。	
28	掲示板での相談。	・ご感想ありがとうございました。	
29	【運営・事務局】		会場参加者の意見をすい上げるネットの取り組み。
30		パネルディスカッションの仕組みが非常に良かった。	・若い世代から高齢の方まで幅広い層の市民の方から利用され、集まった方々が交流し、新たなつながりが生まれるような施設にしたいと考えています。 ・建物を作ったから終わりではなく、どう運営していくかが大事です。利用され続ける施設にするためには行政だけでなく、市民の皆さんのご協力も必要だと考えております。より良いサービスを提供していくための組織体制、運営体制を引き続き検討して参まいります。 ・今回のシンポジウムは図書館を核としたまちづくりがテーマとなっておりますので、ライブラリーセンターが中心の講演内容とさせていただきます。
31	【その他】	観光ガイドが関われる。協力出来る部分のヒントがあった。ありがたかった。	
32		目玉はライブラリーなのか、商業スペース等の話しはなかった。	
33		カフェやバー等で人が集まれば良いものではない。市民とどうつながるかだ。	
34		ソフトが大事。使いやすい施設・運営。	
35		世代を超えて繋がれるコミュニケーションポート。	

アンケート 問3～7

No.	分類	問5「今回のシンポジウムをきっかけに、駅前開発への理解は深まりましたか？」	市の回答
1	【深まった】	なぜ図書館を建てるのかが理解はできた。	・図書館について、その集客力は他の酒田市内の観光施設と引けをとりません。その上で、今後新たな利用者層の拡大を図り、駅周辺や中心市街地全体への波及効果を目指します。 ・駅利用者以外の方からも来ていただけるような魅力的な企画やイベントの充実は重要だと考えています。併設される観光情報センターやカフェ、ホテル等と連携しながら施設の魅力をアップしていきたいと考えています。 ・魅力的な施設にしていくためには、人づくりが一番大事なことだと考えています。職員やボランティアなどを育てていく環境を整え、市民の皆さんのニーズに応えられるような人材の育成に努めてまいります。 ・地元への情報提供や意見交換も自治会を通じて行っております。
2		館長は熱のある方をぜひ選んでほしい。	
3		観光ガイド活動をしている関係で、楽しみにしている。	
4		ライブラリーセンターを中心に、市民が居心地の良い場所にして欲しい。	
5		ライブラリーセンターを核としてぜひ様々な人がコミュニケーションのとれる場を作ってほしい。	
6		良いところを真似してもっと良くなるように祈っている。	
7		発展させるために考えつかないようなことをして楽しそうだった。	
8		酒田駅前が情報交換の港になってほしい。	
9		今回初めて酒田駅前の開発について学ぶことができ、住む地域でこのような発展が行われていることを学べたため。	
10		コーディネーターの人たちがいろいろと説明していたのがわかりやすいから。	
11		私達の活動が図書館の価値拡大に貢献したいと考えた。	

アンケート 問3～7

12	【少し深まった】	全体像をよく理解出来ていないので、でも少し深まった。
13		図書館の在り方についての感じ方が変わった。
14		酒田市が駅前開発でどういう町づくりを目指しているか（コンセプト）少しわかった。
15		中町の開発も必要！！
16	【変わらない】	図書館で駅前活性化するとは思えない。
17		事前にとりたい情報を得ていたので変わらない。
18		完成後の運営が大事。完成後が始まり。
19	【あまり理解ができない】	駅前のまちづくりについて駅前の住民が蚊帳の外にいます。
20		ライブラリーセンターのご理解は深まったが、その他のことは深まらなかった。
21		どうして駅前なのかなと思う。

アンケート 問3～7

No.	分類	問6「今回のシンポジウムをきっかけに、公共施設に対する期待感はどう変わりましたか？」	市の回答
1	【高まった】	基調講演にあったような公共施設ができればいい。	<ul style="list-style-type: none"> 皆様のご期待に沿えるよう、魅力ある施設運営に向けて取り組んでいきます。 情報の発信や運営方法などのソフト面については、今後公表される実施計画にて具体的に示していきます。
2		以前から酒田市に少し関わっているので、今回で更に強く関わりたいと思うし、期待も高い。	
3		映像で酒田のよいところを知らせることもできればいい。	
4		新施設が駅前の顔となることを期待する。	
5		誰もが気軽に使用できる施設にしてほしい。敷居を下げるための運営の在り方（指定管理も含め）を十分検討していただきたい。	
6		市民との協働参加、私達が自主的に取り組む重要性を認識した。	
7		様々な意見を聞き、公共施設はなくてはならない場所であり、市民から長く有効に利用されなければならないと思った。	
8	【少し高まった】	市民の小さな要求や願いが、生かされるという期待感が高まった。	
9		地元に住続ける以上は地元について知った方が良いと分かった。	
10		マジメでつまらないイメージが少し変わった。	
11		様々な問題もありますが、前向きな運営に参加していきたいと感じた。	
12		駅前開発に関してですけど。	

アンケート 問3～7

13	【変わらない】	酒田市自体の考え方が変わらないのであればあまり期待出来ないのかなと思った。	市の回答 ・ご意見、ご感想ありがとうございました。今後のイベントの参考とさせていただきます。	
14		施設を建てた後のことが（何を目的に 何をやりたいか）よくわからない。		
No.	分類	問7「シンポジウムの時間はどうでしたか？」		市の回答
1	【長かった】	長かったが、意義はあった。		市の回答 ・ご意見、ご感想ありがとうございました。今後のイベントの参考とさせていただきます。
2		腰が痛くなった。		
3	【少し長かった】	時期的に日が短かく女性は落ち着かない。		
4		内陸より来ているので、もう少し早く終わってくれと もっといい。		
5		焦点ボケしている。		
6		子育て世代の方は3時間このために割くのはよほど強い 意志が必要です。		
7		【ちょうど 良かった】		
8	1人1人ちょうどよく話していた。			
9	【少し短かった】	大事なことから長くてよい。		
10		パネルディスカッションは個別の日程で時間を取っても 良かったのでは？と思いました。		
11		もう少し色々な人の意見を引き出してみたかった。		

アンケート 問3～7

No.	分類	問8「今後、公共施設の運営等へボランティアで参画することについてどう思いますか？」	市の回答
1	【是非関わりたい】	ライブラリーセンターと一緒に楽しいものにしていき たいです。今までと違い、楽しい図書館を作っていま しょう。	市の回答 ・できる範囲で、気軽な気持ちで関わっていただける ように工夫して参ります。市民参画を通し、出会いや 交流が生まれるような場としたいと考えています。 ・建物を作ったから終わりではなく、どう運営してい くかが大事です。利用され続ける施設にするためには 行政だけでなく、市民の皆さんのご協力も必要だと考 えております。より良いサービスを提供していくため の組織体制、運営体制を引き続き検討してまいりま す。
2		みんなで酒田を盛り上げよう！！	
3		観光の部門は割と重要なセクションと自負していますの で、観光ガイドとして積極的に関わりたい。	
4		今の行政は高齢者ばかりに金をつかっている。若い世代 にも還元してほしいから。	
5		創作面に興味があるのでその面で参加したいと思った。	
6		自分に出来る事があれば。	
7		酒田の発展に貢献したいため。	
8	【関わりたい】	市民が作り上げないと長続きしない。公共施設は市民共 同で作るものだと思うから。	
9		内容によっては、関わりたい。	
10		岐阜の例を聞くと「1つくらいは何かお手伝いできるの では」と感じる事ができた。いろいろな仕掛けをやっ ていくことが大切だと思えた。	
11		地域貢献がしたいから。	
12		色々提言はしたい。	
13		関わりたいが、難しそうで困る事があるのではと心配。	

アンケート 問3～7

14		皆で参加したくなるイベント等、関わってみたいと感じた。
15		始めから市民参画にしてもらいたかった。
16		市民の為の施設である為有効に活用されるよう協力したい。
17		関われる人は大きに関わってほしい。
18	【どちらでもない】	今の健康が続けば携わることになるのだが、完成するのが3年後でしたか？もつかどうか。是非見てみたいです。
19		地域ボランティアで精一杯。
20		時間があれば関わりたい。
21	【関わりたくない】	私利私欲。
22		出張が多く、休みたい。

No.	主な自由意見	市の回答・考え方
1	図書館が本を借りる場所としか考えたことがなかったの で、まちづくりに積極的に関わることができるとは思いま せんでした。こんな図書館ができれば通いたい！！	・基調講演していただいた2つの事例やパネルディスカッ ション等で出た意見等も参考にしながらご期待に沿えるよ う事業を進めてまいります。
2	新図書館の成功を楽しみにしています。子供達が将来の酒 田市で活躍できる場が提供できるといいですね。	
3	公共施設の持っている力を発揮して欲しいです。	
4	今日のお話を聞いて図書館のイメージが変わりました。 市民が集える、楽しい場所になりそうで楽しみです。1日 いれるスペースになってほしいと思います。	
5	今回講演を聞いてこれからの図書館ということで従来のイ メージが一掃されました。ワクワクする中身というので しょうか。酒田でも必ず実現できると思いました。駅前に 人が集まる往来が多くなる、これは我々市民の願いです。	
6	ここまで、作ってこられたこと、おつかれさまです。いい ものを作れるよう、一緒にがんばりたいと思います。	
7	多賀城市の図書館のようなものがほしいと思ってました が、それよりもさらに今日伺ったような施設が出来たらと ても満足です。	
8	酒田市がこの駅前開発をきっかけに新しく生まれ変わって ほしいと思っています。魅力ある町づくりを酒田市民が改 めて考えることにもつながってほしいです。	

9	シンポジウムに参加してみて、商業施設を作るよりも、新 しいスタイルの公共施設が長期的に酒田の財産になると感 じました。高校生の意見もよかった。	・2つの図書館は、共ににぎわいや交流が生まれるように滞 在型を目指しており、本市としてもこのような公共施設を 目指したいとして選定したものです。人口や施設規模の違 いは当然ありますが、考え方などについては、生かせる部 分はたくさんあるものと考えています。
10	今日は、酒田駅前の図書館についての話す会は、いろい ろな意見が出て、いいなあと思ったのがたくさんあったの で、私も意見を出したのでよかったです。どういう図書館 ができるか楽しみにしています！！	
11	武蔵野市、岐阜市の図書館の成功はすばらしいと思った。 運営（図書館）する側の人材も大切（りっぱな建物だけ建 ててもダメ）。人口減少（地方）に対する視点も必要。 （武蔵野市都会の都市人口14万 岐阜市は41万都市）酒田 市とは全然内容が違う。	
12	大都市の武蔵野、岐阜は酒田の参考に十分なるのだろうか ……。	
13	図書館は小説のイメージが私にはあるので、漫画を多く置 いてみては？と思いました。	・漫画については、収集を拡充していきたいと考えていま す。収集方針では、社会的な評価を得ていること、完結し たものであること、評価の定まった作品を予定しておりま す。参考書も含め検討していきます。
14	高校生の資格のための参考書、実現できるといいと思いま す。	

15	武蔵野市、岐阜いずれでもやっていない、ウェルカムミュージックコンサート（ミニコンサート等）を月々1回でもいろんなジャンルの音楽（洋楽・和楽を問わず）を開催したら、よりコミュニケーションポートのコンセプトに近づくのでは、ないでしょうか。グリーンハウスのムーンライトセレナーデはいまでも心の中に残っていて、酒田を思い出すいいきっかけ、スイッチとなっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございました。参考意見とさせていただきます。 ・ご感想ありがとうございました。
16	武蔵野プレイス・ぎふメディアコスモスの話がおもしろかったです。事業に対する期待と興味がわきました。	
17	過去に取り組んだ事のある方の視点から取り上げたら面白いところが分かって良かった。	
18	夏に武蔵野プレイスに行って感動しました。	
19	吉成さんのお話がおもしろかった。	
20	吉成館長の講演が大変よかったです。	
21	武蔵野、岐阜に負けない良い図書館を希望します。	
22	高校生にも目を向けられているプレゼンが多くて良いと思いました。	
23	時には一瞬、眠りに誘われたりしましたが、高校生のパネリストが新鮮でした。	

24	光陵高校生（若者代表）の意見を大幅に取り入れて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は若者の率直な意見をリアルタイムで聞きたいということで、酒田コミュニケーションポート（仮称）整備検討委員である、光陵高校の教頭先生にお願いし、生徒さんから参加のご協力いただいたものです。 ・参考までに、昨年市内5校の高校より、駅前公共施設整備に関するアンケート調査のご協力いただきました。カフェや交流・滞在できる場所が欲しいという意見を多くいただきました。 ・大学生との意見交換会や大学生・高校生によるワークショップ等も実施しています。詳細は市ホームページをご覧ください。
25	今回のシンポジウムとても良かったです。よく理解できました。光陵生の発表とても良かったです。出来れば市内すべての中高校生や公益生などの意見も聞きたかったです。	
26	光陵以外高校生は関わりがないのでしょうか？	
27	色々な年代の意見を聞くことができ、大変楽しい時間を過ごすことができました。このような集いにもっと若者（大学生など）が来られる工夫が必要なのは、と思った。	
28	大学生の意見も聞きたかった。駅前から中町、いわゆる中心市街地に人を誘動させるためにどうすべきか、これも一緒に考えるべきです。	
29	パネルディスカッションに高校生を呼ぶのはいかがなものでしょうか。人を呼びたいのは理解しますが、酒田駅の駅長を呼んだ方が、はるかに有意義だと思われます。	
30	パネリストには今まで地道に酒田の街づくりをしてきた方にも入って欲しかったとつくづく思います。	

31	スマホを使った参加がおもしろかった。	・今回、初めての取組みでしたので、課題もありますが、市民意見を聞く新しい手法として有効である考えます。
32	イマキクのシステムは大変良いです。	
33	色々な意見を見れて楽しかった。これが実施されると思うとわくわくしますね。	
34	オーディエンスが参加できる仕組みは良かったです。	
35	今後もこの様な市民も参加できるイベント、ディスカッションを行って頂きたいです。	
36	スマホを持っていない方にとってはみなさんの意見を目にする事ができず、中途半端な感じになっていたのではないのでしょうか。逆にあるとスマホが気になりパネリストの方のお話集中できないと感じました。	・昨年度、子育て中のお母さん方との意見交換や市民アンケートなどさまざまな方法で声を拾う取組みを行いました。子育て支援施設の運営者の皆さまなど随時アドバイスをもらうなどの工夫をしております。
37	スマートホンを持ってないので意見が出せなかった。	
38	参加者を見ると半分以上が高齢。子供、ママたちなど、今日参加していない人の声もどんどん反映してほしい。	

39	ワーキングスペースを作るのはいいと思いました。やはり、「気軽に」という事が大事で、「人を配して、つなげる」ではダメな様な気がします。そして酒田にどんな会社があるのか、企業も積極的にアピールできる場所があればお互いを知れるし、活気づくと思いました。普段車に乗っているばかりだし、雪かきでつかれるけれど、ボルダリングとか、楽しい運動を、大人もしたい。子供より先に、化学実験の体験など、まず大人が参加したい。過去の子供達は飢えているのだ！	・今まで図書館の利用率が低い若い世代やビジネスマンの方にも利用していただけるよう、開館時間の延長やパソコンが使用できる席、Wi-Fi設備の設置等を考えています。 ・企画展示や周辺施設と連携してのイベント等も検討しており、いろいろな世代の人が利用できる施設にしたいと考えます。コワーキングスペースは酒田市内にあります（東北公益文科大学内等）ので、駅前施設には設ける予定はありませんが、イベントや講座の企画等の連携は考えられます。
40	コワーキングスペースは作らないのですか？	
41	施設としての集客を考える時、受動的でなく各自の熱意ある、やる気だと思えますのでしっかりお願いします。	
42	パネリストの方々が云っていた様に、他に負けない様なプラン、アイデアを我々も考えたいと思いますので、市の方もフンドシをしめ直し隣市に負けない様な行動、決断力を発揮して計画を進めてほしいと思います。 市も柔軟な考えを持ちなさい！あたり前の物では絵に書いた餅になりかねません！	
43	デザインだけでなく、市と市民が互いに作っていきける施設をお願いしたい。ずっと続いていく施設で居心地の良い、ずっといられる施設が良い。	

44	館長のリーダーシップは事の成功を大きく左右すると思った。そして活動させるための担保となるシステム、制度をどう作りあげるかが大事。	・館長の公募などの運用に関してはまだ未定となっており、施設全体を引っ張っていくリーダーのような存在も必要と考えます。司書については、研修や勉強会等を通してスキルアップできるような環境を整え、市民の皆さんのニーズに応えられる人材を育ててまいります。
45	図書司書を多く配置して下さい。未来に残す財産です。子どもたちに良い本を与えられるように、アドバイスできるように、営利追求だけにならないように願います。	
46	ライブラリーセンターでもやはり市民の図書館であることが根底だと思います。 今日の意見を図書館に関心ある人ない人に見てもらうにはどうできるか工夫して下さい。	・今回のシンポジウムの記録や参加者の方からのご意見・ご感想については、市ホームページに掲載予定です。各コミュニティセンターにも配布予定です。駅前の情報はさまざまな手法で公開しております。
47	コミュニケーションポートの概要など積極的に開示して行かないと鶴岡文化ホールの様に、完成してから苦情だらけになる。鶴岡の二の舞にならない様に。	

48	駅前に集まるであろう人の流れをどう拡散させたいのか。図書館が駅前である必要性が未だ不明。岐阜の例からしても駐車場が成功を左右しているよう。立駐しかできない駅前で大丈夫だったか。	・駅前という立地から、様々な賑わいを創出するため、イベント企画など運営面で工夫が必要と考えています。隣接する民間施設（ホテル、バンケット等）とも連携していきます。 ・図書館について、その集客力は他の酒田市内の観光施設と引けをとりません。その上で、今後新たな利用者層の拡大を図り、駅前周辺や中心市街地全体への波及効果を目指します。 ・駐車場については、現在の図書館利用や他施設利用を考慮して台数を決めております。敷地やコスト面でも制約があり、いくらでも作れるわけではありませのでバランスが大事であると考えます。 ・地元への情報提供や意見交換も自治会を通じて行ってお
49	公共施設の建設、開設はスタートで、当該施設の周囲にどのような店舗、事務所、住宅を貼り付くかが大切だと思います。周囲への各種施設、人の流入～定着にも、注力して欲しい。	
50	集客施設としてのライブラリーセンターを目指しているというイメージを持ちました。この施設を核として駅前まちづくりに波及させる仕掛けも重要だと思いました。地元の駅前地域住民はどんな考えなのか気になります。	

51	<p>人の動線、"対流"という言葉が出て来たが、駅前のあの限定された敷地内での人の流れにしか及んでいないのが疑問。あの場所が魅力的になれば人の身持ちはそちらに向かうようになるかもしれないが、本間美術館から駅迄とかの動線上にも賑わいが生まれるよう、同時進行で取り組んでほしい。</p> <p>「駅前」という事で武蔵野市の施設に親近感をもってしまいが、「武蔵境」駅と「酒田」駅では立地条件が全然違うという事をきちんとおさえて欲しい。「武蔵境」駅前は繁華街、ショッピング街で人はそのついでにプレイスに立ち寄る事も多い。今の酒田駅周辺では、「ついで」は考えられず「目的」をもった人の利用が主になるのでは？「武蔵野プレイス」を孫と一緒に何回も利用した事がある者としてまちづくりに関心があるが、運営に関わる人には、全くボランティアではなく、少しでも「報酬」が出るカタチで参画してもらった方が、よりやりがいもあるし、責任も持ってもらえると思う。</p>	<p>ります。</p>
52		<p>・市民参画の手法については今後検討していきます。</p>

53	<p>現在の図書館はどうされるのでしょうか。空洞地の場所が移るだけではないでしょうか。</p>	<p>・現在の中央図書館が駅前のライブラリーセンターへ移転することになります。跡地の利用については今後の検討となります。</p>
54	<p>今回の図書館の運営について、指定管理であるか直営であるかに、市の方も、パネラーをまとめる司会も、講演者もふれていないのは何故でしょうか。会場内からの質問には後日であろうとすべて回答を公開して下さい。建物を作ったから中身をつくるのは市民だというパネリストの発言は、上から目線です。</p>	<p>・運営手法に関してはまだ未定となっております。建物を作ったから終わりではなく、どう運営していくかが大事だと思っております。利用され続ける施設にするためには行政だけでなく、市民の皆さんのご協力も必要だと考えております。より良いサービスを提供していくための組織体制、運営体制を引き続き検討してまいります。</p>
55	<p>予算をけちらず後悔しない整備を望みます。</p>	<p>・ご意見ありがとうございました。</p>
56	<p>目の前にいるのにインターネット上で意見を伝える事に驚いたが、酒田人はシャイなので、それもいい方法なのかもと思いました。でも、それを持っていない方が参加するのは難しいと思った。</p>	<p>・ご意見ありがとうございました。運営に関して至らない点があり申し訳ありませんでした。今後のイベント等の参考とさせていただきます。</p>
57	<p>画像が見づらかった。</p>	
58	<p>マイクの音がこもって聞きとりづらかった。</p>	
59	<p>資料として駅前の施設の平面図があったら良いのと思いました。</p>	
60	<p>画面で、1階、2階の大まかなフロア予想図がありましたが、良く理解出来ませんでした。手元に図があるとありがたかったと思います。</p>	
61	<p>道路より入り口にわかりやすい案内があればよかった。</p>	

4 関係機関・団体等との意見交換

団体名	開催年月日	主に出された意見項目
平成 29 年度第 1 回 図書館協議会	平成 29 年 8 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のオープン時期について ・観光情報センターの機能や活用方法について ・企画展示について ・児童図書コーナーや読み聞かせコーナーについて ・施設内でのアルコールの提供について
市民説明会（基本 設計等について）	平成 29 年 9 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・各機能（レファレンスや雑誌コーナー、読み聞かせコーナー、カフェ、フリースペース等）の設置場所や使い方について ・駐車場の台数について ・災害時等の受け入れや防災について ・周辺地域との調整や将来の展望について ・バスベイについて ・管理運営方法について ・障がい者用トイレの設置について
平成 29 年度第 2 回 図書館協議会	平成 29 年 12 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の収集方法や PR 方法、デジタル化について ・マンガの選書基準について ・民間や学校や個人参加の市民ボランティアとの連携について ・ライブラリーセンターの休館日や休館時の対応について ・指定管理者制度を導入した際のレファレンス機能や司書の育成方法について ・配置計画について（入口付近の書棚や観光情報センター内等） ・駐車場からライブラリーセンターまでの動線について
庄内聾啞老荘部	平成 29 年 12 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳ができる受付職員の配置について ・バス停内の時刻表の表示について ・案内表示や内装の色使いについて ・災害時の対策について

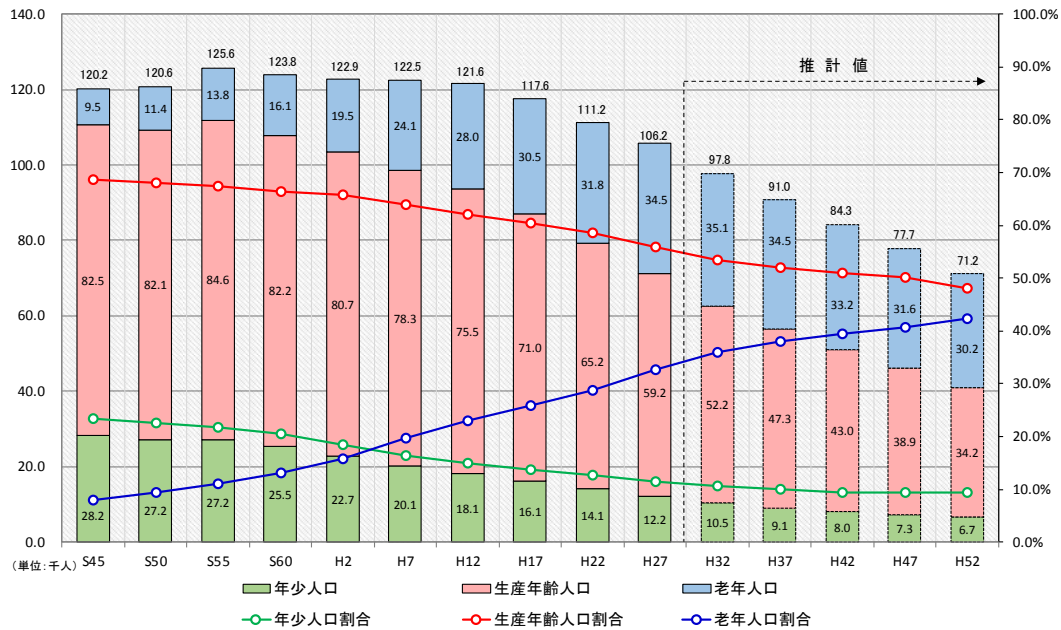
<p>図書館を考える会</p>	<p>平成 29 年 12 月 22 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・酒田駅前まちづくりシンポジウム（12/10 開催）について ・管理運営方法（指定管理者等）について ・学校連携について ・市民参画に関するボランティアの募集方法や運営手法について ・レファレンス機能について ・カフェでのアルコール提供や館内での飲食について
<p>平成 29 年度第 3 回 図書館協議会</p>	<p>平成 30 年 2 月 20 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のロゴや愛称の決め方や募集方法について ・観光情報センターでの郷土本の販売について ・指定管理者になった場合の人件費試算について ・東北公益文科大学との連携について ・指定管理者のメリットについて
<p>平成 29 年度第 2 回 社会教育委員の会 議</p>	<p>平成 30 年 2 月 28 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東北公益文科大学のデジタルアーカイブスとの連携について ・観光情報センターでの情報発信について ・子ども、高齢者が学べ、交流できる施設づくりについて ・市民参画の推進のための教育行政のあり方について

人口推移及び将来推計 1

●少子高齢化の加速

- ・H52の老年人口割合42.5%、生産年齢人口48.1%、年少人口9.4%
- ・高齢者1人を支える生産年齢人口 平成22年:2.1人 → 平成52年:1.1人

※本市では、各種施策の効果により、2040年(平成52年)に8万6千人程度、2060年(平成72年)に7万5千人程度の人口が確保されることとしております。(平成27年策定人口ビジョン)

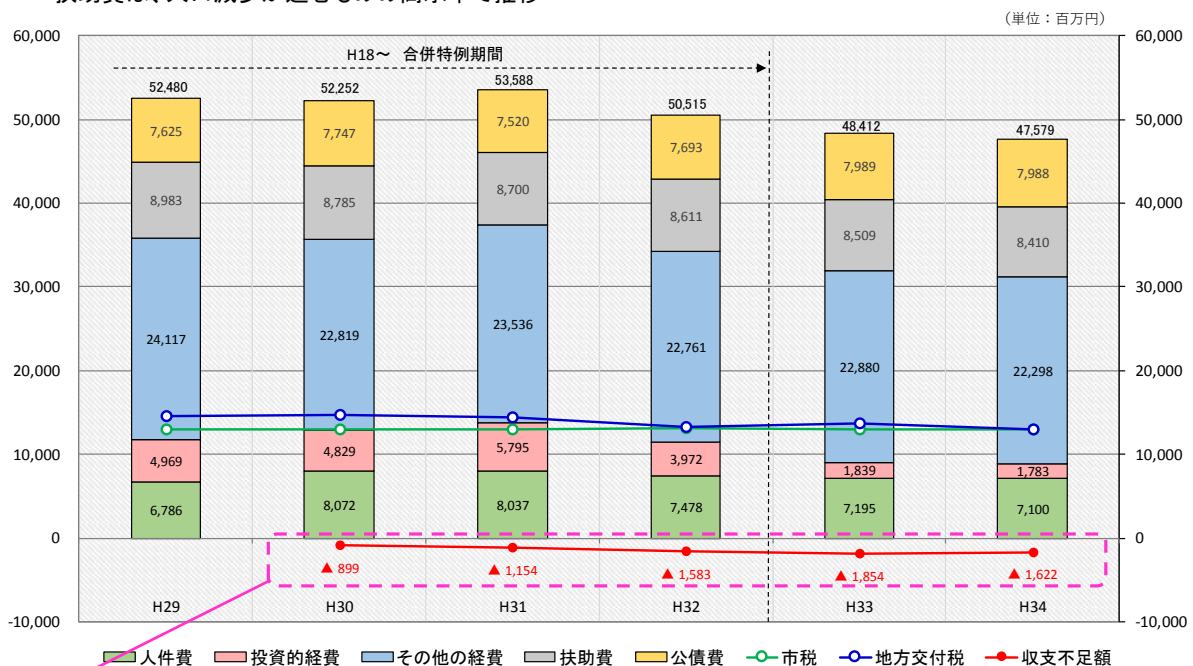


出典：S45～H27年は国勢調査。H32年以降は「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

中期財政計画 2

●合併特例期間の終了に伴い縮小していく財政規模

- ・公債費は、投資事業の償還により高水準で推移
- ・扶助費は、人口減少が進むものの高水準で推移

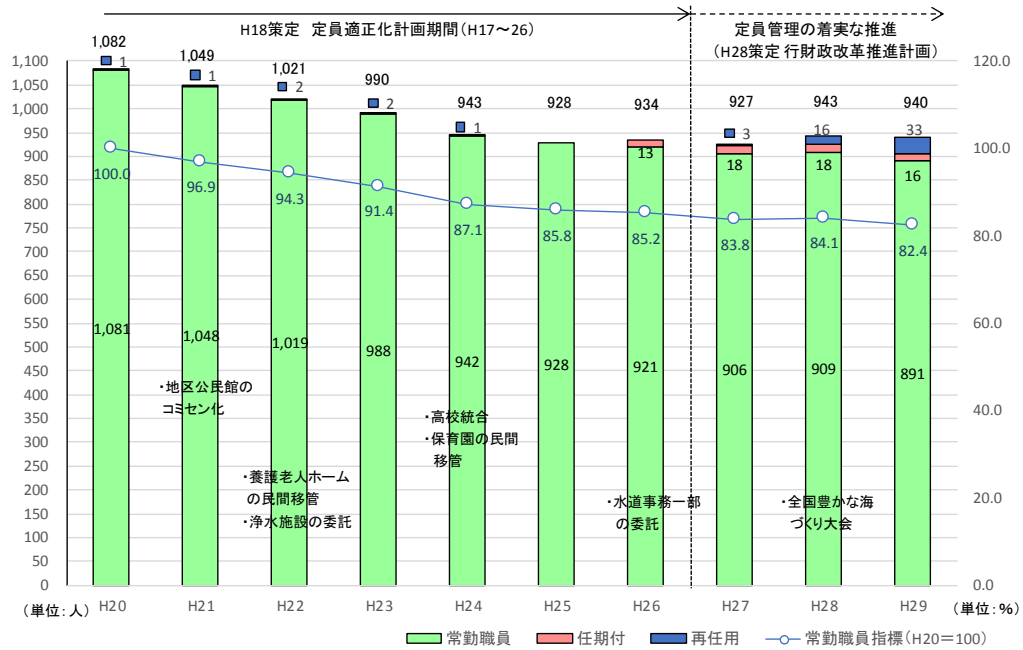


出典：H29.8.23 市中中期財政計画(一般会計)

収支不足額は、H29予算算定ベースで試算した場合に生じる額。この不足額に対応するため、H30～34において、歳入の対応策で2,816百万円、歳出の対応策で▲4,296百万円と、それぞれの対策を講じた前提により、各年度の計画額を算定している。

●定員管理の着実な推進

- ・H18策定 定員適正化計画での削減職員数目標▲200人は、計画どおりに達成。
 - ・引き続き、行財政改革推進計画(H28策定)に基づき、定員管理の着実な推進を実施中。
- 社会情勢の変化に対応し、市政や市民サービスの低下を招かないように、再任用職員、任期付職員、非常勤職員などの多様な任用形態の活用も含めて、効率的な人員配置を行う。



※ 再任用は定年退職
 ※ 任期付は一定の期間内に終了することが見込まれる業務などに従事するもの

出典：地方公務員定員管理調査(総務省)に基づくもので各年度の4月1日現在の人数。

行財政改革推進計画 【基本計画(大綱)】 (平成28年3月策定)

■基本計画(大綱) 3つの改革目標

【改革目標1】 効率的な行財政運営による市民サービスの維持・向上

- ＜改革項目＞
- 1 人口減少社会に対応した行政運営
 - 2 効率的な行政運営
 - 3 職員の意識改革と人材育成

【改革目標2】 市民の参画と協働によるまちづくり

- ＜改革項目＞
- 1 市民協働の推進
 - 2 民間活力等の効果的な活用

【改革目標3】 持続可能な財政基盤の確立

- ＜改革項目＞
- 1 健全な財政運営の推進
 - 2 歳入確保と歳出削減
 - 3 保有資産の適正管理と有効活用

■改革の期間 平成28年度から平成32年度まで

■【改革目標1】 効率的な行財政運営による市民サービスの維持・向上

改革項目1 人口減少社会に対応した行政運営 ①効率的・効果的な組織・機構・人員の見直し ②選択と集中による事業の見直し ③広域・地域間連携の推進	改革項目2 効率的な行政運営 ①事務の効率化の推進 ②新たな制度等への対応 ③情報通信技術(ICT)利活用の推進
改革項目3 職員の意識改革と人材育成 ①職員の意識改革と資質の向上 ②行政課題に的確に対応できる人材の育成	

■【改革目標2】 市民の参画と協働によるまちづくり

改革項目1 市民協働の推進 ①主体的な市民活動との協働・連携の強化 ②住民主導のまちづくり活動の推進 ③わかりやすい情報の提供と透明性の向上 ④広聴活動の推進	改革項目2 民間活力等の効果的な活用 ①民間活力等によるサービスの向上・効率化 ②民間活力等による公共施設の効率的な管理 ③東北公益文科大学等と連携したまちづくりの推進
---	---

■【改革目標3】 持続可能な財政基盤の確立

改革項目1 健全な財政運営の推進 ①公債費と市債残高の適切な管理 ②受益者負担のあり方の見直し	改革項目2 歳入確保と歳出削減 ①市税等収納率の向上と収入未済額の圧縮 ②新たな自主財源確保策の検討 ③経済的な波及効果を意識した事業手法の選択 ④事務事業等の継続的な見直しによる経費の抑制 ⑤国・県等財源の積極的な活用
改革項目3 保有資産の適正管理と有効活用 ①未利用資産の適正化 ②アセットマネジメントによる適切な施設管理	

運営手法の比較【管理運営主体】

直 営	指定管理者
<ul style="list-style-type: none"> ・市が、直接職員の採用を行い運営するもの。 ・主な任用形態としては、法に基づき、常勤職員、任期付職員（一定期間内に終了することが見込まれる業務や業務量の増加が見込まれる業務に従事するため採用される職員）、再任用職員（定年退職等により一旦退職した者を一会計年度を任期として採用される職員）、再任用短時間職員（再任用職員の短時間勤務）、非常勤職員（一会計年度を任期の上限として採用される職員）などがある。 ・一部の業務は、私法上の契約関係による個別の事務又は業務の委託を取り入れるのが一般的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成15年度に法制度化 ・公の施設の設置目的を効果的に達成し、多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図ることを目的とするもの。 ・法に基づく管理権限の委任の方式であり、使用許可等の行政処分も含めて管理を行わせる制度である。

直 営	指 定 管 理
<p><メリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員での採用となれば、安定的な雇用条件が確保される。 ・常勤職員での採用となれば、長期的な視点での人材育成を行うことができる。 <p><デメリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定化された職員による組織のマンネリ化（人事の硬直化） ・職員採用にあたっては、定員管理上の調整が必要となる。 ・会計が単年度予算主義のため、企画事業等の柔軟性が民間と比べて低い。 	<p><メリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理に、民間事業者等の創意工夫や自主的経営を活用することで、利用者に対するサービスの向上が期待できる。 ・指定管理者に対し業務要求水準書により目指す施設像を明確に示すことにより、市は客観的かつ厳格に評価・指導することが可能になる。 ・効率的な経営能力と専門性のある人材を確保し、配置することができる。 ・指定管理者の選定手続きを公募とすることで、競争原理による管理コストの軽減を図ることができ、行政経費の削減が期待できる。 <p><デメリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期間で指定管理者が交代した場合、ノウハウの蓄積を妨げるおそれがある。 ・人件費の抑制などコスト削減の面のみが着目され、施設の運営経費が十分確保されていない場合は、利用者に対するサービスの低下や地域の雇用に影響を与えることも懸念される。

県内の指定管理者導入状況

●**図書館** 平成29年度現在 8市町/県内35市町村

米沢市 新庄市 長井市 天童市 東根市
河北町 川西町 遊佐町

※県立図書館への間取り

●**観光案内所** 平成29年度現在 7市1事務組合/県内13市

山形市 米沢市 長井市 村山市 天童市
東根市 南陽市 最上広域市町村圏事務組合

※事務局独自13市調査

●**駐車場** 平成29年度現在 5市1事務組合/県内13市

山形市 米沢市 鶴岡市 寒河江市
天童市 最上広域市町村圏事務組合

※事務局独自13市調査

● 49施設で指定管理者制度を導入

- ・学童保育所 15施設
- ・観光関連施設 5施設
- ・社会教育・文化施設 6施設
- ・身体障がい者関連施設 1施設
- ・勤労者福祉施設 1施設
- ・スポーツ施設 10施設
- ・温浴・宿泊施設 6施設
- ・農林水産関連施設 4施設
- ・地域振興施設 1施設

全国の指定管理者制度の導入状況（図書館）

項目	図書館数	導入館数	導入率
日本図書館協会調査2015	3,241	430	13.2%
文部科学省調査2011	3,249	347	10.7%
総務省調査2015	3,304	501	15.2%

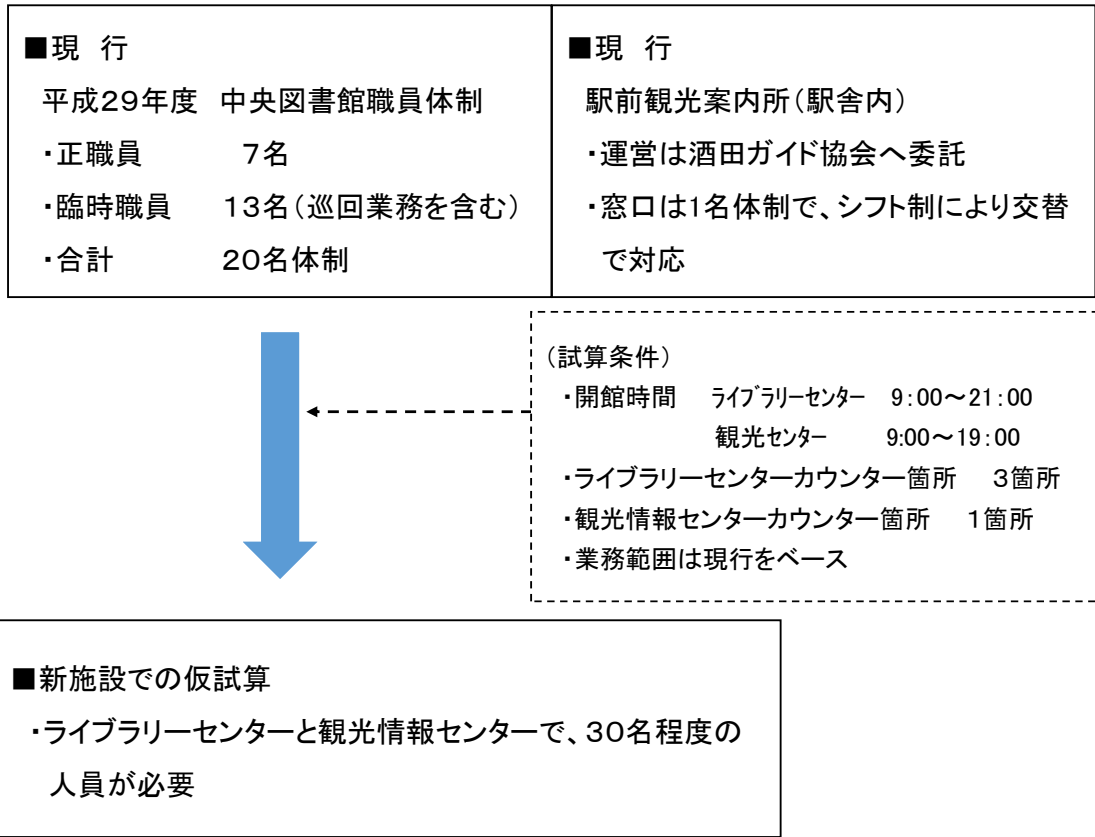
（都道府県立、市区町村立別の内訳）

項目	都道府県立 図書館数	導入館数	導入率	市区町村立 図書館数	導入館数	導入率
日本図書館協会 調査2015	59	4	6.8%	3,182	426	13.4%
文部科学省調査 2011	61	1	1.6%	3,188	346	10.9%
総務省調査2015	63	6	9.5%	3,241	495	15.2%

出典：（公）日本図書館協会 公立図書館の指定管理者制度について-2016

（※）その他報告速報等

- ・文部科学省調査（平成27年10月1日現在）導入 516館（全自治体）
- ・日本図書館協会調査2017 2016年度まで導入 536館（全自治体）



酒田駅周辺整備事業に関する情報は市HPよりご覧ください。

<http://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisakukeikaku/kikaku/ekishuhen/ekisyuuuhenseibi.html>



酒田コミュニケーションポート（仮称）整備実施計画

- 発行 山形県酒田市
〒998-8540 山形県酒田市本町二丁目2番45号
電話 0234(22)5111（代表）
- 編集 酒田市企画部都市デザイン課
E-mail toshi-design@city.sakata.lg.jp
- 策定 平成30年4月